SHARP

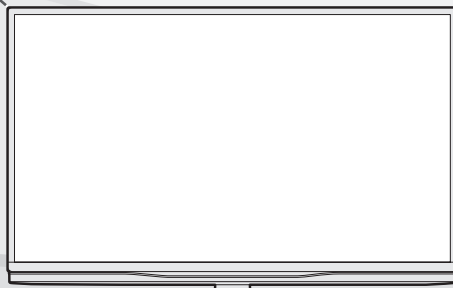
AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

LC-80XL9
LC-70XL9
LC-60XL9
LC-52XL9
LC-46XL9

電子取扱説明書の使いかた⇒**50**ページ

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（**6** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 基本部のセットイラストは、LC-52XL9 で記載しています。

付属品

・ネジの「M ○」は、ネジ部の径が○ mm であることを表します。

リモコン ×1

リモコン用乾電池※（単 3 形乾電池）×2

※ アルカリ乾電池をご使用ください。

乾電池を入れて使います。
⇒**41**ページ

B-CAS カード ×1

B-CASカードの台紙

（2012年10月現在）

・ B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている **B-CAS パンフレットの袋の中の台紙**についています。
・ 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

デジタル放送を見るときに使います。
⇒**23**ページ

取扱説明書※（本書）×1

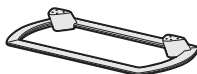
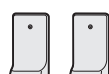
かんたん !! ガイド※ ×1

保証書 ×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

クリーニングクロス ×2

液晶ディスプレイパネルのお手入れに使います。⇒**15**ページ

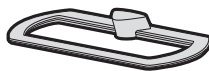
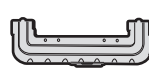
LC-80XL9

スタンド ×1　スタンド金具 ×2　スタンドカバー ×2

スタンド取付ネジ
M5（長さ14mm）×4

スタンド金具取付ネジ
M6（長さ20mm）×8

スタンドカバー取付ネジ
M4（長さ8mm）×2

電源コード（約2m）×1

ケーブルバンド×2

LC-70XL9／LC-60XL9

スタンド ×1　スタンド金具 ×1　スタンドカバー ×1

スタンド取付ネジ
M5（長さ14mm）×4

スタンド金具取付ネジ
LC-70XL9：
M6（長さ25mm）×4
LC-60XL9：
M6（長さ10mm）×4

スタンドカバー取付ネジ
M4（長さ8mm）×1

ケーブルバンド×1

LC-52XL9／LC-46XL9

スタンド ×1　スタンド金具 ×1　スタンドカバー ×1

スタンド取付ネジ
M5（長さ12mm）×8

スタンドカバー取付ネジ
M4（長さ8mm）×1

ケーブルバンド×1

本機に取り付けます。⇒**20**ページ

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。

（2012年10月現在）

No.	品　名	形　名	対応機種
1	システムラック	AN-65SR3	LC-60XL9　LC-52XL9 LC-46XL9
2	システムラック	AN-R600	LC-60XL9　LC-52XL9 LC-46XL9
3	壁掛け金具	AN-80AG1	LC-80XL9※1　LC-70XL9※1
4	壁掛け金具	AN-52AG6	LC-70XL9※1　LC-60XL9※1 LC-52XL9※2　LC-46XL9※2
5	3D メガネ	AN-3DG20	LC-80XL9　LC-70XL9 LC-60XL9　LC-52XL9 LC-46XL9

※1 取り付け角度は、0°に対応
※2 取り付け角度は、0°、5°、10°に対応

◇おしらせ◇

- 壁に掛けて設置する場合、付属のスタンドを取り付ける必要はありません。
- LC-80XL9 の金具取付ピッチは 600mm × 400mm です。
- LC-70XL9 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-60XL9 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-52XL9 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-46XL9 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。

もくじ

はじめにお読みください

設置・接続

基本の使いかた

故障かな？

お役立ち情報（仕様など）

English Guide

付　録

次の内容は、AQUOSサポートページに掲載しています。

パソコンで本機を操作する
設定メニューの項目一覧
寸法図／壁掛け金具取り付け時の寸法
壁に掛けて設置する場合は

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/

本書の表記について

- 電子取説　電子取扱説明書の説明をご覧いただくマークです。
- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものです。実際の表示とは多少異なります。
- 本書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-52XL9 を例にとって説明しています。LC-80XL9、LC-70XL9、LC-60XL9、LC-46XL9 は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。

◇**おしらせ**◇

- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（⇒ **71** ページ）

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

警告

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

- そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

100 ボルト以外禁止

- 火災･感電の原因となります。

異物を入れない

禁止

- 通風孔(裏ぶたのすき間)などからもの(可燃性･導電性のものを含む)を入れると、火災･感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災･感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

不安定な場所に置かない

禁止

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

本機の上に花びん等､水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

- 水がこぼれるなどして中に入ると、火災･感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せない

禁止

- 火災･感電の原因となります。

台所や屋外など、テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

- 火災･感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠警告

本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

- 火災・感電の原因となります。

内部に水や異物、または虫などが入ったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- お客様自身による修理は絶対におやめください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の原因となります。

使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない

禁止

- 熱がこもって、火災の原因になります。

異常に温度が高くなるところには置かない

禁止

- 特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

⚠警告

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する

指示

- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。

無線 LAN 機能は病院内で使用しない

禁止

- 医療機器の誤動作の原因となることがあります。

無線 LAN を使用するときは心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する

距離に注意する

- 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

⚠注意

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

- 感電の原因となります。

次のページに続く

⚠注意

電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災·感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

- 電源コードが傷つき、火災·感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

- 電源コードの被覆が溶けて火災·感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス(H_2S、S_2O)が大気中に含まれる温泉地などには設置しない

禁止

- 火災·感電の原因となることがあります。
- 大気中に含まれる硫化ガス(H_2S、S_2O)に長時間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。

風通しの悪いところに入れない·密閉した箱に入れない·じゅうたんや布団の上に置かない·布などをかけない

禁止

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

- 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

液晶画面に衝撃を与えない(物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)

禁止

- 液晶画面のパネルが割れることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

- 手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

- 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 感電や火災の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

- 接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災·感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS·110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

⚠注意

タコ足配線をしない

禁止

- 火災・感電の原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分～ 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

アルカリ電池についての安全上のご注意

- 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

禁止

- 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

禁止

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

- 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

指示

- 電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所および湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

次のページに続く

⚠警告

別売の3Dメガネ(AN-3DG20)についての安全上のご注意

・詳しくは3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。

■ 3Dメガネの電源供給について

雷が鳴り出したら、USB電源供給での3Dメガネ使用を中止し、テレビ本体のUSB端子と3Dメガネの電源供給用端子からUSBケーブルを外す

・感電の原因となります。

⚠注意

別売の3Dメガネ(AN-3DG20)についての安全上のご注意

・詳しくは3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。

■ 3D映像の視聴について

・3D映像の見え方には個人差があります。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、酒気帯びの人は3Dメガネを使用しない

・病状悪化の原因となることがあります。

体調がすぐれないときは、3Dの視聴は控える

3Dメガネで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止する

・そのまま視聴すると体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。

・休憩をとっても疲労感、不快感が取れない場合は、使用を中止してください。

⚠注意

3D映像(映画、ゲーム、パソコン等)をご覧になる場合は、1時間程度を目安に適度に休憩をとる

・長時間の視聴による目の疲れの原因となることがあります。
・休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。

3Dメガネを使用しているときに誤ってテレビ画面や人をたたかない

・3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因となることがあります。

3Dの映像を見るときは3Dメガネを使用する

3Dメガネは、両目を水平に近い状態で視聴する

近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は、視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで3Dメガネを使用する

3Dメガネを装着中も映像が2重に見える状態が続くとき、立体感が感じにくいときは使用を中止する

・長時間の使用による目の疲れの原因となることがあります。

3Dの映像を見るときは画面の有効高さの3倍程度の視距離で見る

(推奨距離):

80V型	3.0m程度
70V型	2.6m程度
60V型	2.2m程度
52V型	1.9m程度
46V型	1.7m程度

・推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布(綿、ネル等)で軽く拭きとってください。ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾(シートタイプのウエット・ドライのものも含め)を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿、ネル等)をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電源プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

損害について

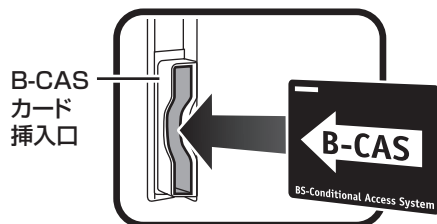
- お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

次のページに続く

守っていただきたいこと

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

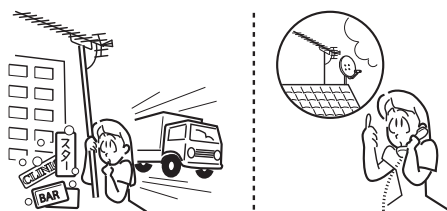
電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

使用温度について

注意

- 周囲温度は 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS･110 度 CS デジタル放送用のアンテナ線には、必ず BS･110 度 CS デジタル用アンテナケーブル(市販品)を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

注意

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

守っていただきたいこと

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃～40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に変色等の悪い影響を与えます。

無線ＬＡＮ使用上のご注意

無線 LAN をご利用の場合は、電波や個人情報などに関して守らなければならない注意事項があります。
次の内容およびご使用の無線 LAN 機器の取扱説明書を必ずご覧になり正しくお使いください。
お客さま、または第３者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。

■ 電波に関する使用上のご注意

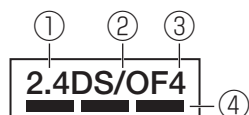
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解／改造すること
  - 内蔵している無線 LAN モジュールに貼ってある証明レーベルをはがすこと
- **本製品は、次の場所で使用しないでください。ノイズが出たり、送信／受信ができなくなる場合があります。**
  本機と同じ周波数帯(２．４GHz ／５GHz)を利用する無線通信機器である Bluetooth、無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お客様相談センター（⇒ **83** ページ)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（⇒ **83** ページ)へお問い合わせください。

次のページに続く

守っていただきたいこと

• 本製品に貼られているラベルの見かたは次のとおりです。

①使用周波数帯域	2.4GHz
②変調方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
③想定干渉距離	40m以下
④周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n
J52 W52 W53 W56

• W52（5.2GHz帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
• W53（5.3GHz帯　52、56、60、64ch）が利用できます。
• W56（5.6GHz帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

※W 52 ／W 53 は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

■ 個人情報（セキュリティー関連）に関する使用上の注意事項について

• 無線 LAN 機器をご利用の場合は、暗号設定有無に関わらず、電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
• 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して本機と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる／不正に侵入されるなどの可能性があります。
無線アクセスポイントの取扱説明書の手順に従って、セキュリティー設定をおこなった状態で、本機をお使いください。
• 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。
• 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、無線設定情報を初期化してください。（⇒設定メニューの「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」ー「LAN設定」ー「手動設定」ー「無線設定」または**71** ページ（個人情報初期化））

■ その他

• 一般的な無線ＬＡＮ機器として、ご家庭宅内でお使いください。
  － 機密を要する重要な通信や、人命に関わる通信など、重要な通信には使用しないでください。
  － 病院内や医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。
• すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
  － コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  － 障害物の近くへの設置
  － 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
  － 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ
• 本機は次の認証を取得しています。
  － IEEE802.11a/b/g/n（WPA2™）（Wi-Fi アライアンスの認定プログラム）
  － Wi-Fi Protected Setup™（Wi-Fi アライアンスの認定プログラム）
• 無線 LAN を利用するためには無線 LAN アクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき設置・設定を行ってください。
• 本機に USB 無線 LAN アダプターを使用すると電波法に準拠しない電波を発する可能性がありますので、USB 無線 LAN アダプターは使用しないでください。
• くわしくは、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートページ「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/

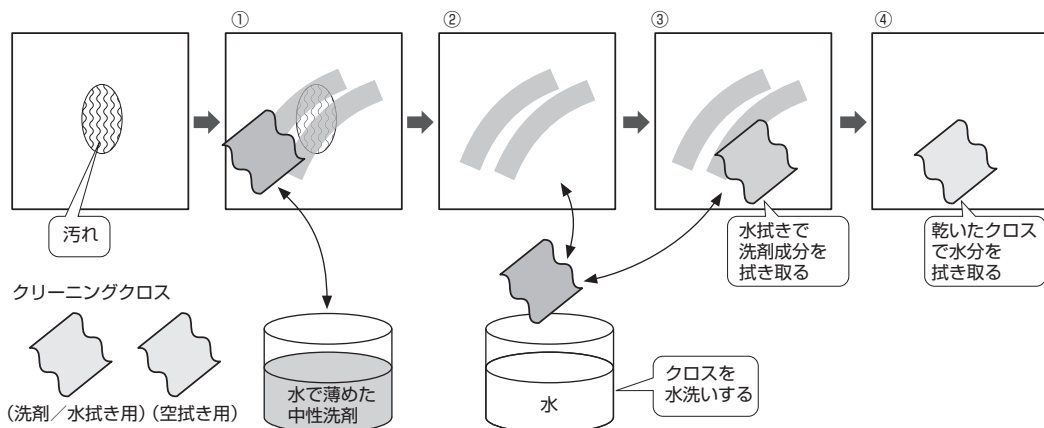
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

この液晶テレビには、画面への映り込みを抑え、高コントラストの美しい映像でご視聴いただける、低反射「モスアイ®パネル」を採用しています。
「モスアイ®パネル」の表面は、ナノ単位(10 億分の 1 メートル)の凹凸があり、指紋などの汚れが付着すると、付着部分の低反射の度合いが変化して目立ちます。画面に汚れが付いたときは、本製品に付属したクリーニングクロス(お試し品)を使って、次の手順ですみやかに汚れを拭き取ってください。

- モスアイ®は、大日本印刷株式会社の登録商標です。

- お手入れの際は、必ず「電源ボタン設定」(⇒**70**ページ)を「モード2」にしてから、本体の電源ボタンで電源を「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

①専用のクリーニングクロスを、水で薄めた中性洗剤にひたした後、よく絞ってすみやかに拭き取ってください。
②クリーニングクロスを水洗いし、クリーニングクロスに含まれる洗剤成分を十分に落としてください。
③クリーニングクロスをよく絞り、パネル表面に残った洗剤成分を拭き取ってください。
④乾いたクリーニングクロスを使用して、画面上の水分を拭き取ります。

- 乾燥すると表面が白くなりますが、目立たなくなるまで、乾拭きをしてください。
- 汚れが取れない場合は上記①〜④の作業を繰り返し行ってください。

■ 拭き取り用のクロスについて

- ティッシュやウエットティッシュなどで繰り返し拭き取りを行うと、繊維に含まれる堅い成分が液晶表面の微細突起を削り低反射の効果を失うことがありますので、これらは使用せず付属のクロスもしくはクリーニング別売品をお使いください。

■ 液晶テレビ用クリーニング別売品(推奨)

- 液晶パネルのお手入れ用に、別売のクリーニングクロス、クリーニングキットをご用意しております。

液晶テレビ画面用クリーニングクロス	液晶パネルクリーニングキット
CA300WH1(サイズ:24cm × 24cm) CA300WH2(サイズ:40cm × 30cm)	CA300CK(クリーニングイレイザー / 液晶パネルクリーニング液 / 収納袋)

◇ ご 注 意 ◇

- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や化学雑巾(シートタイプのウエット･ドライのものも含め)などを使わないでください。ディスプレイパネルの表面がはく離することがあります。
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。

本体各部のなまえ

- LC-52XL9 を例に説明していますが、LC-80XL9、LC-70XL9、LC-60XL9、LC-46XL9 も端子の配置は同じです。

前面

スタンド
⇒**20**ページ

リモコン受光部
- リモコンをここに向けて操作します。⇒ **41** ページ

明るさセンサー受光部

POWER TIMER REC

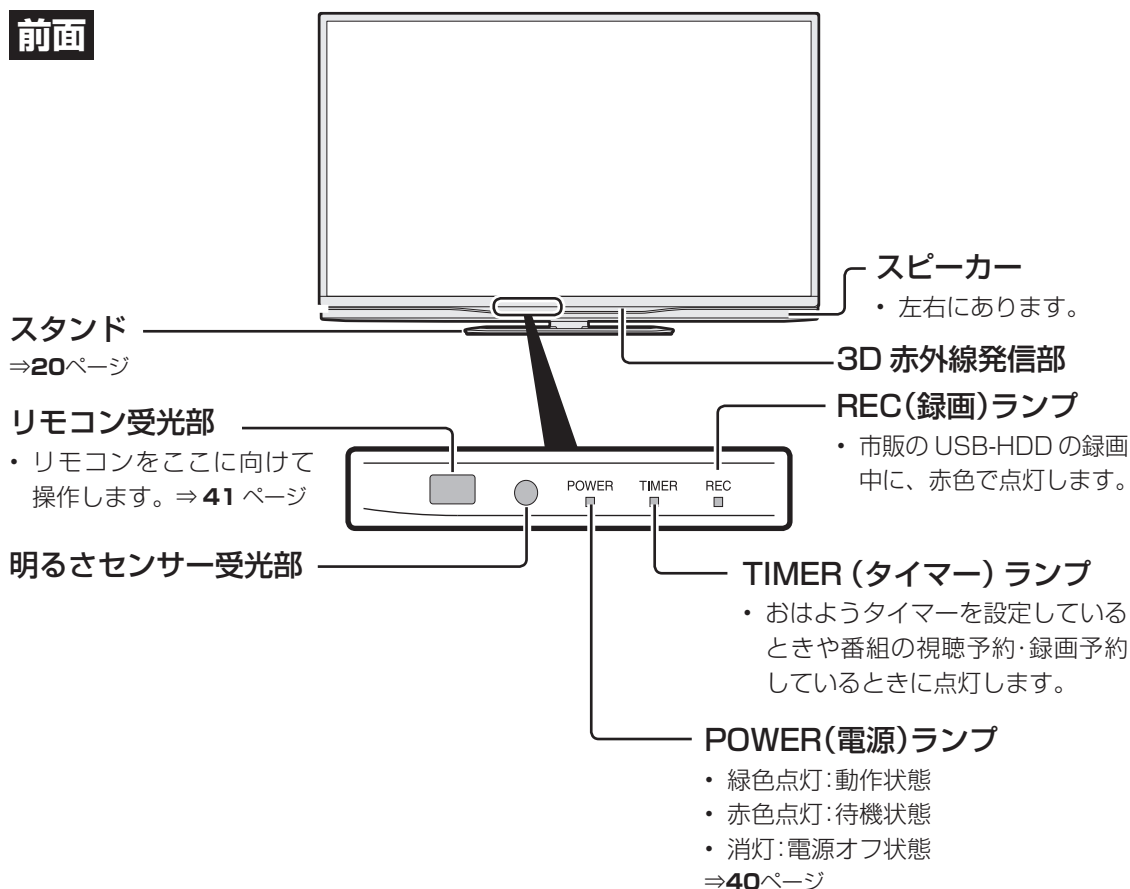
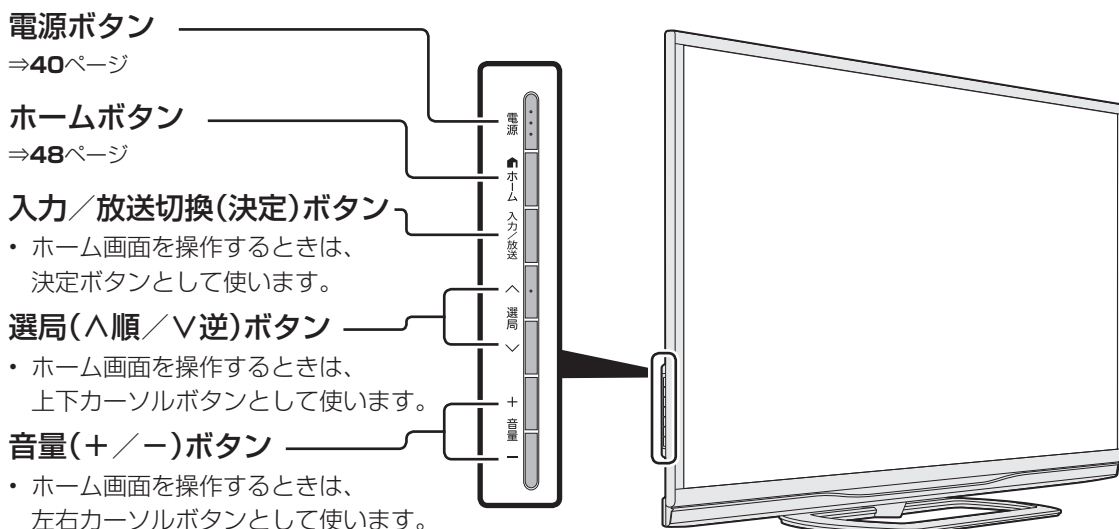
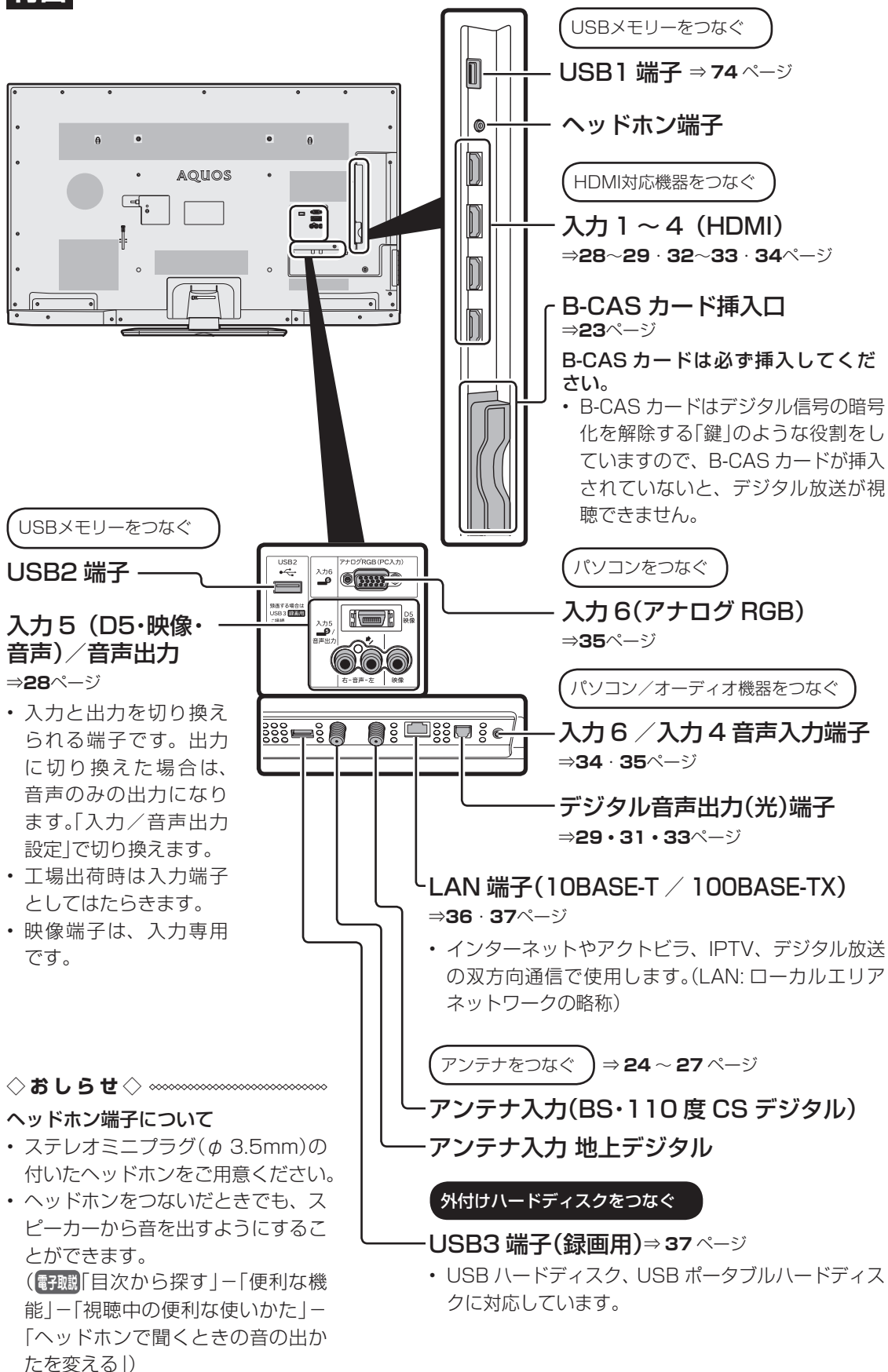
スピーカー
- 左右にあります。

3D 赤外線発信部

REC(録画)ランプ
- 市販の USB-HDD の録画中に、赤色で点灯します。

TIMER(タイマー)ランプ
- おはようタイマーを設定しているときや番組の視聴予約・録画予約しているときに点灯します。

POWER(電源)ランプ
- 緑色点灯:動作状態
- 赤色点灯:待機状態
- 消灯:電源オフ状態

⇒**40**ページ

左側面

背面

◇おしらせ◇

ヘッドホン端子について

• ステレオミニプラグ（φ 3.5mm）の付いたヘッドホンをご用意ください。
• ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音を出すようにすることができます。
（電子取説「目次から探す」－「便利な機能」－「視聴中の便利な使いかた」－「ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える」）

本機を設置する

基本的な準備のながれ

- 本機の設置･接続･受信設定などの基本的な進めかたのながれです。

1 本機を設置する場所を決める
⇒**19ページ**

2 スタンドを取り付ける
⇒**20ページ**

3 B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する
⇒**23ページ**

4 アンテナをつなぐ
⇒**24～27ページ**

- 壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は､｢壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合｣(⇒**下記**)をご覧ください。

5 他の機器をつなぐ
⇒**28ページ**

6 電源コードをつなぐ
⇒**38ページ**

7 本機を固定する(転倒を防ぐ)

- 本機を設置し、転倒の防止をします。(⇒**39**ページ)

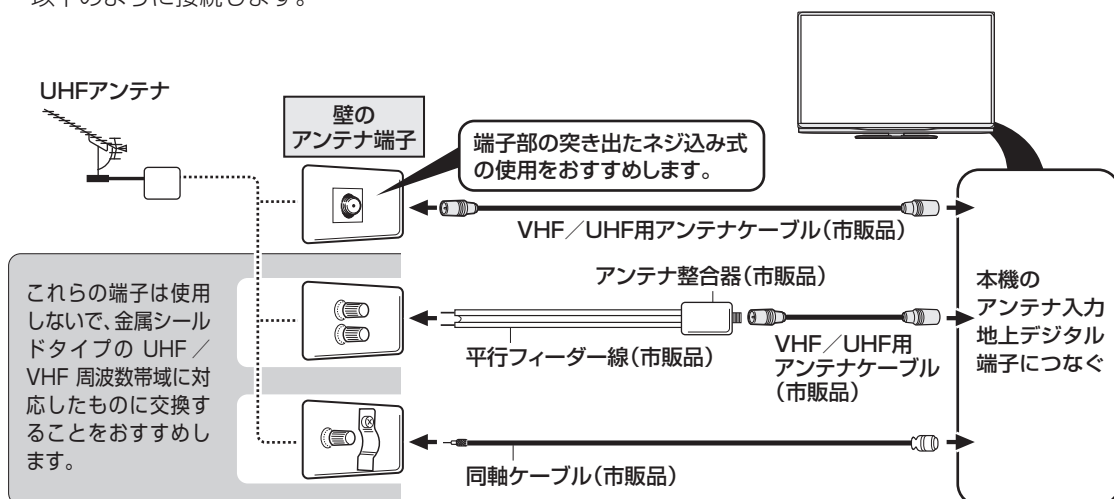
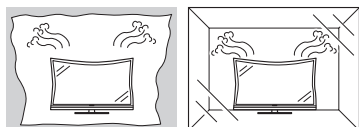
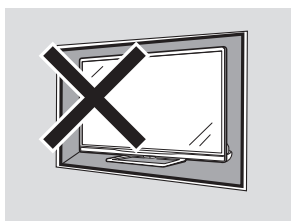
8 かんたん初期設定をする
⇒**42～46ページ**

- 画面の指示に従って設定を進めます。
- 受信の設定は、個別に行えます。(⇒ **55** ～ **56** ページ)

- 操作に困ったときは、⇒**57**～**64**ページをご覧ください。

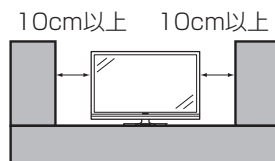
壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合

- 壁のアンテナ端子のかたちが **24** ページの記載と異なる場合は、市販のケーブルなどを使って、以下のように接続します。

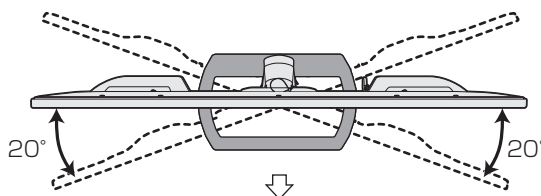
1　本機を設置する場所を決める

- 本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。
- 別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。(別売品について⇒**3**ページ)
- 以下のような設置のしかたをしないでください。

  - 風通しの悪いところに入れない
  - 密閉した箱に入れない
  - じゅうたんや布団の上に置かない
  - 布などをかけない
  - 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない(使用温度 0℃～ 40℃)
  - 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。

設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
- 左右それぞれ10cm以上のスペースを空けてください。

10cm以上　10cm以上

- 左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、設定メニューの「(音声調整)」で調整してください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 転倒防止策を実施してください。(⇒ **39** ページ)
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。
- 設置後、本機をお使いになる前に、ぐらつきや傾きがないか確かめてください。

角度調整のしかた

LC-60XL9 ／ LC-52XL9 ／ LC-46XL9 の場合

- スタンド下部 (図の濃い色の部分)を片方の手でしっかりと押さえ、手をはさまないように注意しながら本体を回転させます。左右各 20 度の範囲内で調整できます。

2 スタンドを取り付ける

◇おしらせ◇

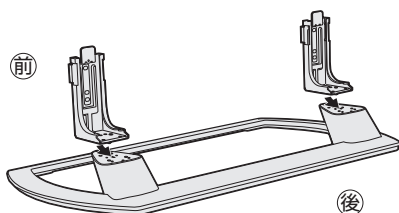
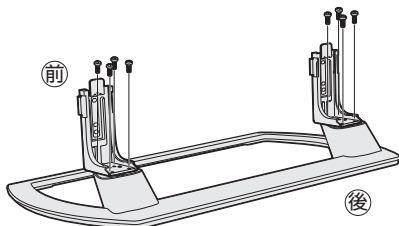
・本機を設置する際は、壁や柱、またはテレビを設置する台に固定して転倒を防いでください。（⇒ **39** ページ）

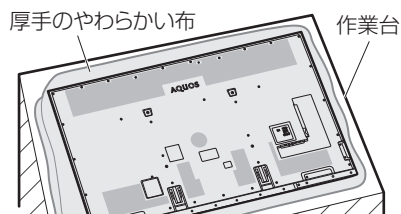
LC-80XL9 の場合

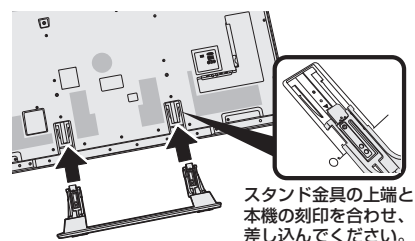
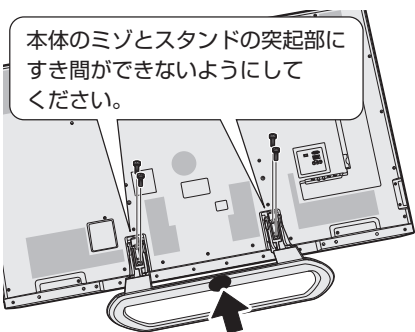
◆ 重 要 ◆

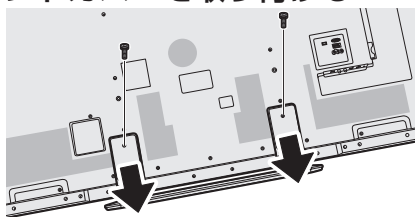
・必ず 3 人以上で、スタンドの取り付けを行ってください。
・テレビの設置が完了するまでは、本体前面の保護シートを外さないようご注意ください。

ネジは、JIS 2 番のプラスドライバー（市販品）を使って、しっかりと締めつけてください。電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約2.0N·m（20kgf·cm）に設定してください。

1 スタンド金具(2個)のツメをスタンドの穴に引っかけて、スタンド金具をスタンドに取り付ける

2 付属のスタンド金具取付ネジM6(長さ20mm)8本で、スタンド金具とスタンドを固定する

・固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

3 本機のディスプレイ部を寝かせる

・テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。
・テーブルなどの台がない場合は、梱包ケースを簡易テーブルとして代用することができます。詳しくは、梱包ケース前面の｢簡易テーブルの作りかた｣をご覧ください。

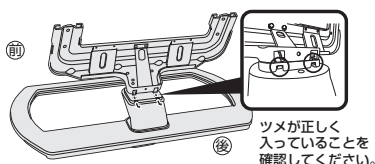
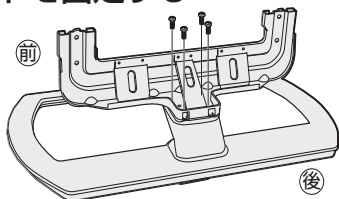
4 スタンドを本機に取り付ける

5 付属のスタンド取付ネジM5(長さ14mm)4本で、本機とスタンドを固定する

・スタンドの底の●部分を押し込みながらネジを締めてください。
・固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

6 スタンドカバー(2個)を矢印の方向にスライドさせ、付属のスタンドカバー取付ネジM4(長さ8mm)2本で、スタンドカバーを取り付ける

LC-70XL9 ／ LC-60XL9 の場合

◆ 重 要 ◆

- 必ず 2 人以上で、スタンドの取り付けを行ってください。
- テレビの設置が完了するまでは、本体前面の保護シートを外さないようご注意ください。

ネジは、JIS 2 番のプラスドライバー（市販品）を使って、しっかりと締めつけてください。電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約2.0N·m（20kgf·cm）に設定してください。

1 スタンド金具のツメをスタンドの穴に引っかけて、スタンド金具をスタンドに取り付ける

2 付属のスタンド金具取付ネジM6(長さ LC-70XL9：25mm、LC-60XL9：10mm)4本で、スタンド金具とスタンドを固定する

- LC-70XL9 の場合は、刻印「B」の穴をネジ止めしてください。
  LC-60XL9 の場合は、刻印「A」の穴をネジ止めしてください。
- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

3 本機のディスプレイ部を寝かせる

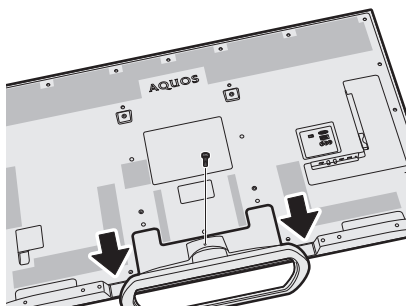
- テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。
- テーブルなどの台がない場合は、梱包ケースを簡易テーブルとして代用することができます。詳しくは、梱包ケース前面の「簡易テーブルの作りかた」をご覧ください。

4 スタンドを本機に取り付ける

5 付属のスタンド取付ネジM5(長さ14m)4本で、本機とスタンドを固定する

- スタンドの底の●部分を押し込みながらネジを締めてください。
- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

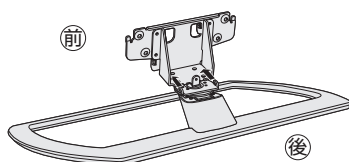
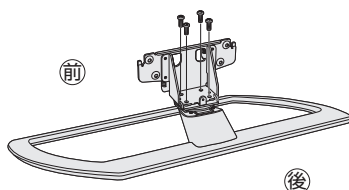
次のページに続く

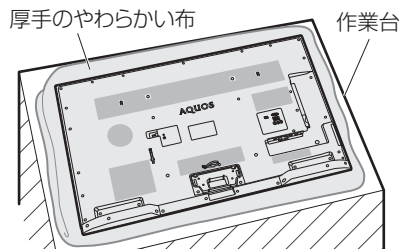
6 スタンドカバーを矢印の方向にスライドさせ、付属のスタンドカバー取付ネジM4(長さ8mm)1本で、スタンドカバーを取り付ける

LC-52XL9 ／ LC-46XL9 の場合

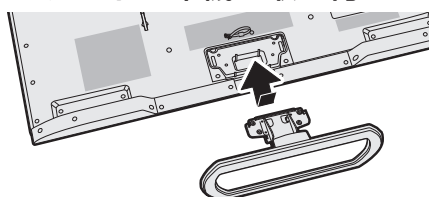
◆ 重 要 ◆

- 必ず 2 人以上で、スタンドの取り付けを行ってください。
- テレビの設置が完了するまでは、本体前面の保護シートを外さないようご注意ください。

> ネジは、JIS 2 番のプラスドライバー（市販品）を使って、しっかりと締めつけてください。電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約2.0N·m（20kgf·cm）に設定してください。

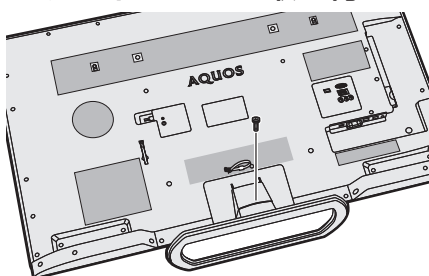
1 スタンドのツメをスタンド金具に引っかけて、スタンド金具をスタンドに取り付ける

2 付属のスタンド取付ネジM5(長さ12mm)4本で、スタンド金具とスタンドを固定する

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

3 本機のディスプレイ部を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。

4 スタンドを本機に取り付ける

5 付属のスタンド取付ネジM5(長さ12mm)4本で、本機とスタンドを固定する

- スタンドの底の●部分を押し込みながらネジを締めてください。
- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

6 付属のスタンドカバー取付ネジM4(長さ8mm)1本で、スタンドカバーを取り付ける

3 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

- デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）を楽しむために、**B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。**B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カードの抜き差しについて

- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、B-CAS カードを抜く場合は、設定メニューの「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「電源ボタン設定」を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。

- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

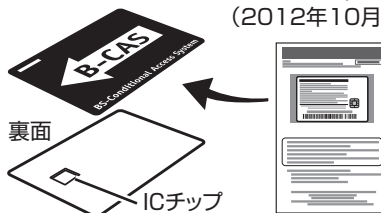
B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先

B-CAS カード　カスタマーセンター
電話　0570-000-250
（2012 年 10 月現在）

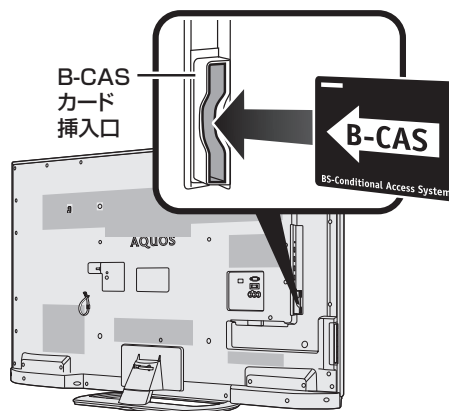
付属のB-CASカード

B-CASカードの台紙
（2012年10月現在）
B-CAS
BS-Conditional Access System
裏面
ICチップ

開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

1 B-CASカードの台紙の内容を読む

- B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている B-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。

2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

- すべての接続を終えて電源を入れた後、設定メニューの「✉（お知らせ）」－「システム動作テスト」を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

4 アンテナをつなぐ（テレビだけをつなぐ場合）

地上デジタル放送用アンテナとつなぐ

- 地上デジタル放送を見るための接続です。

地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。
（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

ケーブルテレビを見るときは

- 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

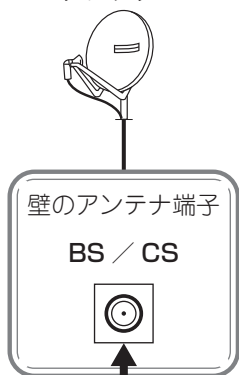
◇**おしらせ**◇

- **CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（⇒ 54 ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。**
- 本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

BS・110度CS デジタル放送用 アンテナとつなぐ

・ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

個人でアンテナを設置しているとき

（BS・110度CSデジタルとUHFが別の端子のとき）

マンションなどの共聴システムで受信しているとき

（BS・110度CSデジタルとUHFが混合されているとき）

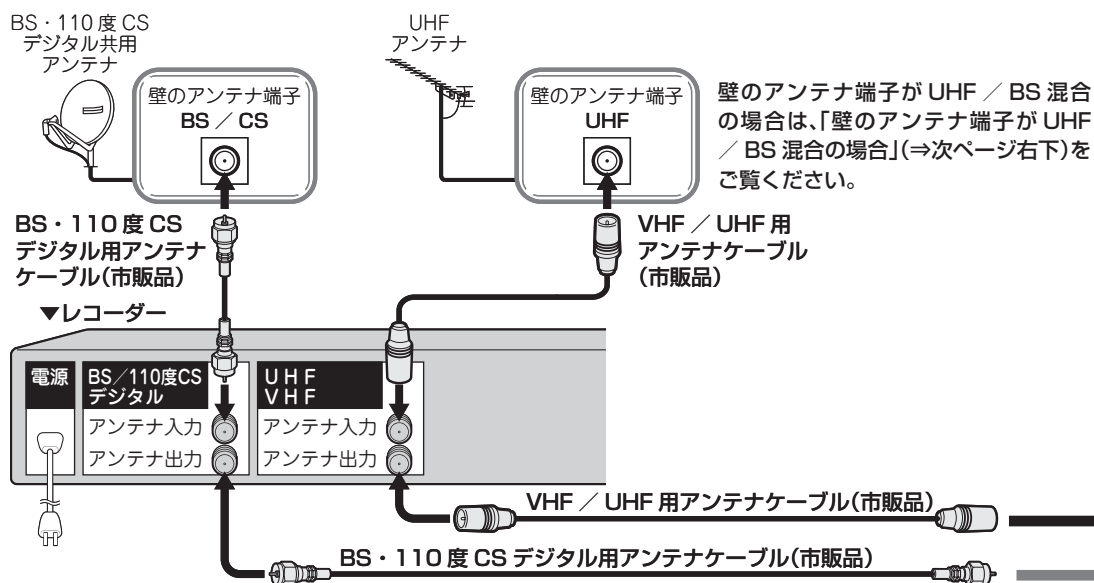
◇**おしらせ**◇

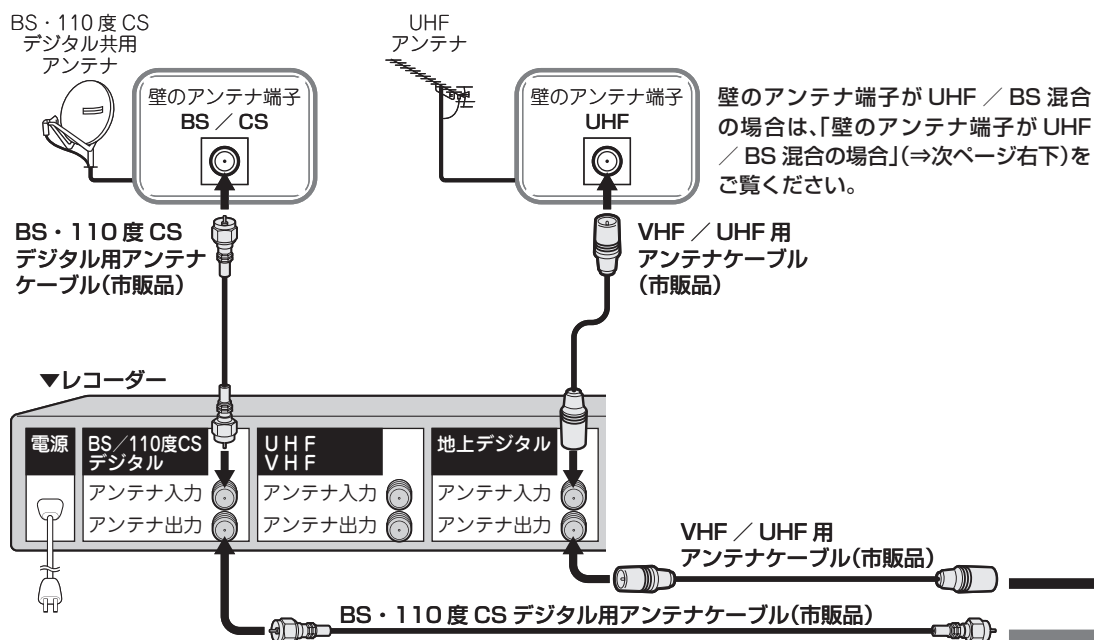
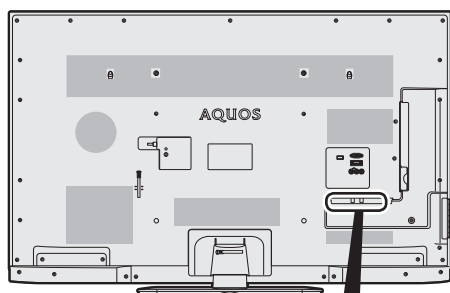
・**接続をやり直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
（⇒ **38**·**70** ページ）（BS·110度CSデジタルアンテナ入力端子は、BS·110度CSデジタルアンテナに取り付けられたBS·110度CSコンバーターに+15V／+11Vの電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。）
・市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110度CS帯域（2.6GHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線はS-5C-FBなど。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
・従来のBSアナログアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

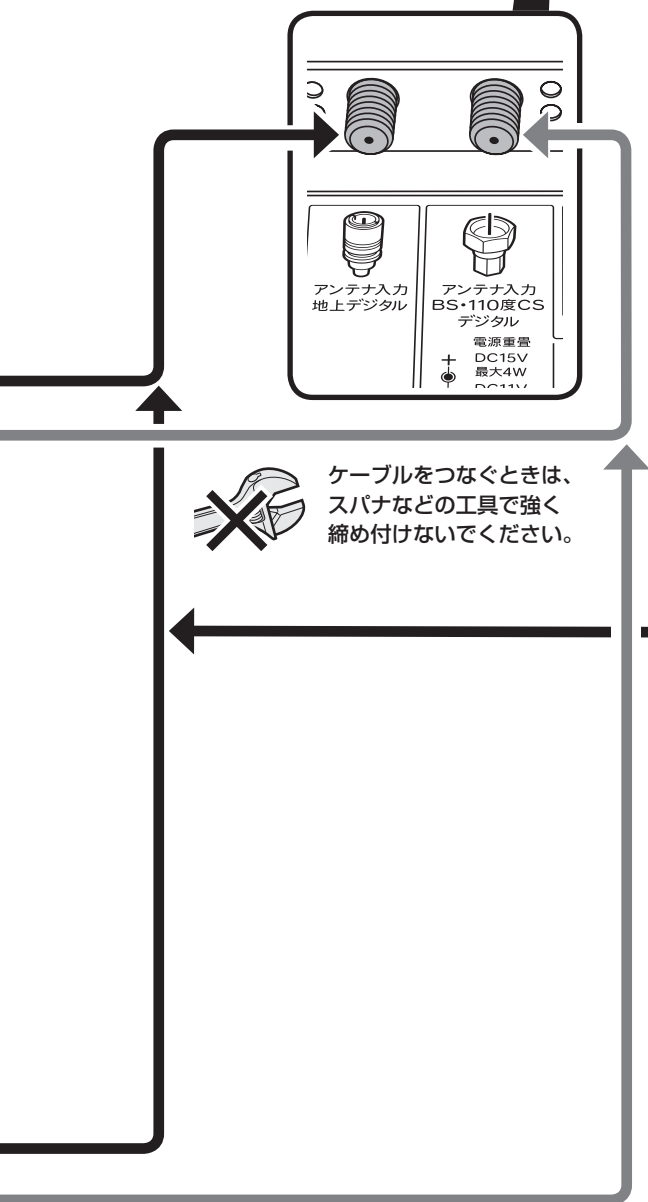
アンテナをつなぐ（レコーダーもつなぐ場合）

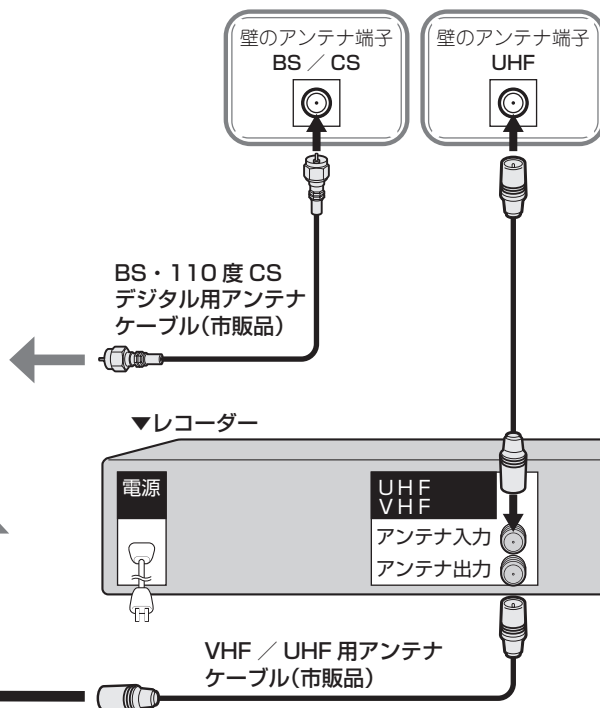
デジタルチューナー搭載のレコーダーの場合

地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子のレコーダーにつなぐとき

壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合」（⇒次ページ右下）をご覧ください。

地上デジタルと地上アナログの入力が別々の端子のレコーダーにつなぐとき

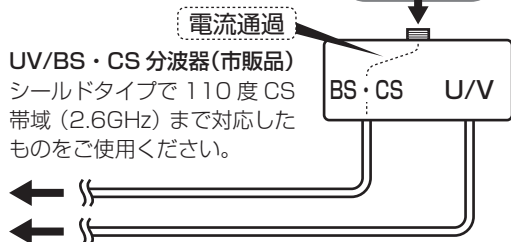
壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合」（⇒次ページ右下）をご覧ください。

▼本体背面

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。
アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

デジタルチューナーを搭載していないレコーダーの場合

壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合」(⇒下記)をご覧ください。

壁のアンテナ端子がUHF／BS混合の場合

- UV/BS・CS分波器(市販品)を使って、VHF/UHF用とBS・110度CSデジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

電流通過

UV/BS・CS分波器(市販品)
シールドタイプで110度CS帯域(2.6GHz)まで対応したものをご使用ください。

5 他の機器をつなぐ

・本機に他の機器をつなぐ場合は、以下をご覧ください。

ファミリンク対応機器をつなぐ

⇒**32ページ**

・ファミリンク機能を搭載している AQUOS レコーダー・プレーヤー・オーディオなどのつなぎかたです。

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

⇒**30ページ**

・ファミリンク対応機器以外のレコーダーやプレーヤーなどのつなぎかたです。

パソコンをつなぐ

⇒**34ページ**

ネットワークにつなぐ

⇒**36ページ**

USBハードディスクをつなぐ

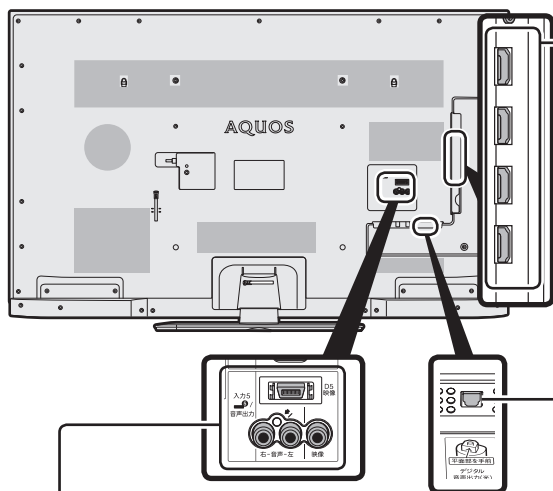
⇒**37ページ**

ゲームやカラオケの反応が遅いときは

・ゲームのキー操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更し、設定メニューの「(映像調整)」−「プロ設定」−「QS 駆動」の設定を「スタンダード」または「しない」に変更してください。

ゲームのプレイ時間を表示することができます

・ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を表示させることができます。
・入力 1 ～ 6 を選んでいるときに設定メニューの「(省エネ・おすすめ情報)」−「ゲーム時間表示設定」で設定します。
・外部入力で AV ポジションを「ゲーム」にしているときに、30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。

レコーダーやプレーヤー・オーディオ機器などをつなぐ

入力 5（D5・映像・音声）／音声出力

・入力と出力を切り換えられる端子です。工場出荷時は入力端子としてはたらきます。
・設定メニューの「(機能切換)」−「外部端子設定」−「入力／音声出力設定」で切り換えます。
・出力に切り換えた場合は、音声のみ出力されます。映像は出力されません。
・本機は以下の D 端子に対応しています。
D5：高精細　D4：高精細　D3：高精細
D2：高画質　D1：標準
・D 端子識別を設定してください。
(⇒電子取説「目次から探す」−「映像・音声調整」−「画面のサイズや位置を調整する」−「画面のサイズを調整する」)

アナログ音声端子が付いたオーディオ機器をつなぐ場合

・設定メニューの「(機能切換)」−「外部端子設定」−「入力／音声出力設定」を選んで「モード 1」「モード 2」「モード 3」に設定してください。

入力１～４（HDMI）

対応している映像信号

- 1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+
  (⇒電子取説「目次から探す」－「外部機器」－「パソコンとつないで使う」－「本機が対応している入力信号と選べる画面サイズ」)

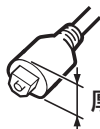
対応している音声信号

- 種類：
  リニアPCM、AAC、ドルビーデジタル
- サンプリング周波数：
  48kHz／44.1kHz／32kHz

◇おしらせ◇

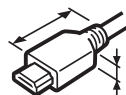
- 映像の種類と画質については
  (⇒電子取説「目次から探す」－「番組の選びかた」－「はじめに」－「用語の解説」)

デジタル音声出力(光)端子

- 本機からMPEG2 AAC／ドルビーデジタル音声フォーマットを出力できます。

デジタル音声出力（光）端子は上記以下のものを使用してください。

HDMI機器を接続するときは

- ＨＤＭＩケーブルの接続部は下記以下のものを使用してください。

LC-80XL9／LC-70XL9／LC-60XL9
長さ：57mm以下
LC-52XL9／LC-46XL9
長さ：27mm以下

- 必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピードタイプ推奨)をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。
- 1080pの映像信号を入力するときは、ハイスピードタイプのHDMI ケーブルをお使いください。
- ３D映像に対応した機器をつなぐときはハイスピードタイプのHDMIケーブルのご使用をおすすめします。

◇おしらせ◇

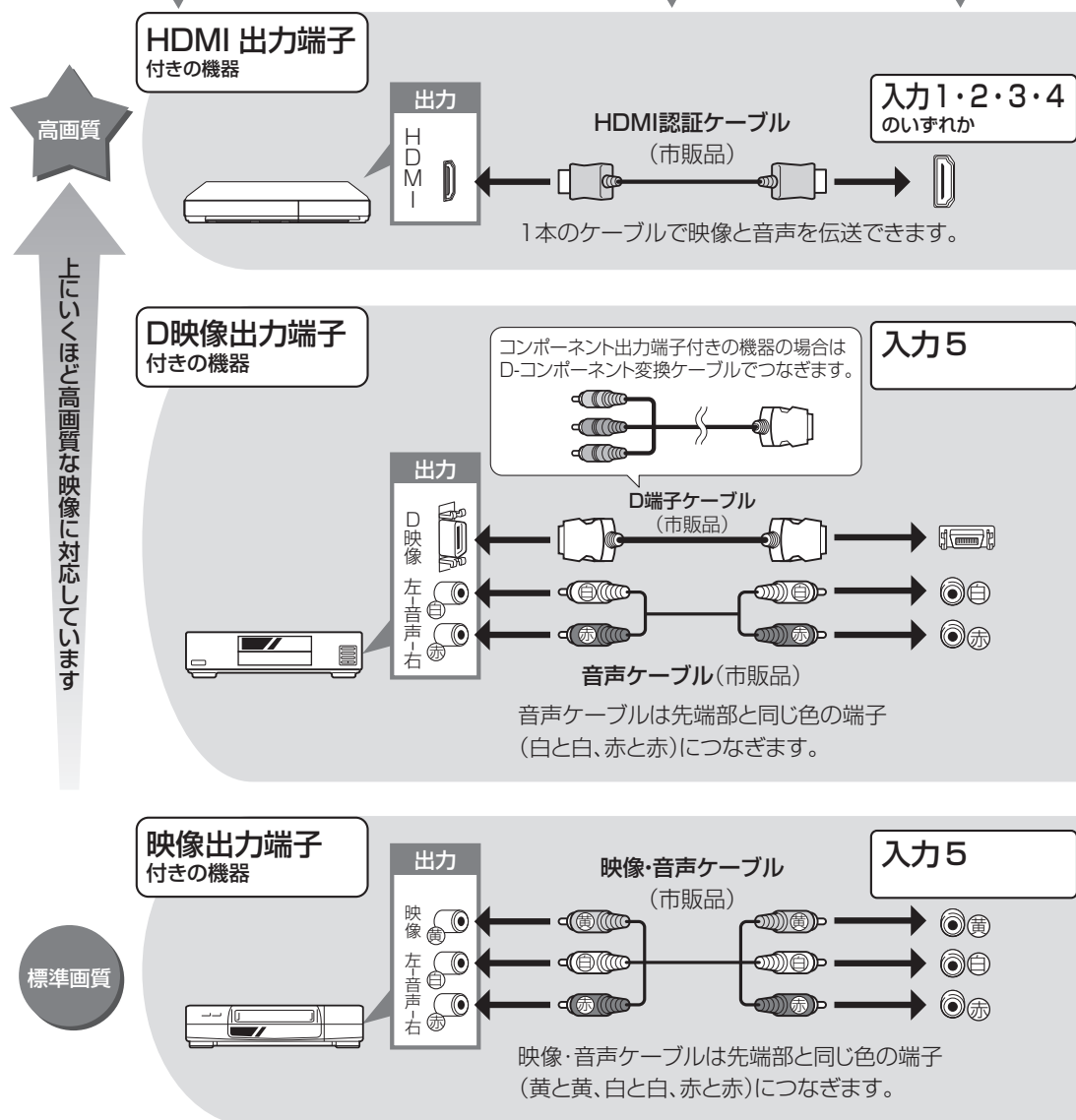
- 入力４にレコーダーやオーディオを接続するときは、入力４に切り換えたあと、ツールメニューから「入力音声選択」を選んで「HDMIのみ」にしてください。(工場出荷時は、「HDMIのみ」に設定されています。)
- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、設定メニューの「(機能切換)」－「ファミリンク設定」－「ファミリンク制御(連動)」を選んで「しない」に設定してください。

ファミリンク対応AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオなどをつないだときは

- 本機のリモコンで操作できます。
  (⇒電子取説「目次から探す」－「ファミリンク機能」－「ファミリンクとは」)

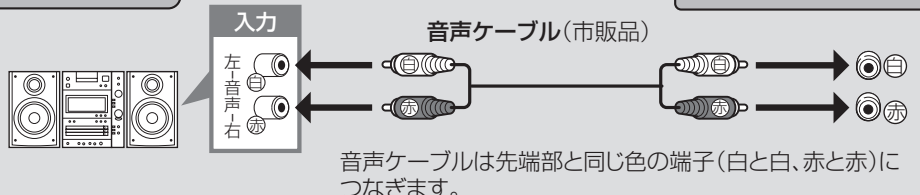
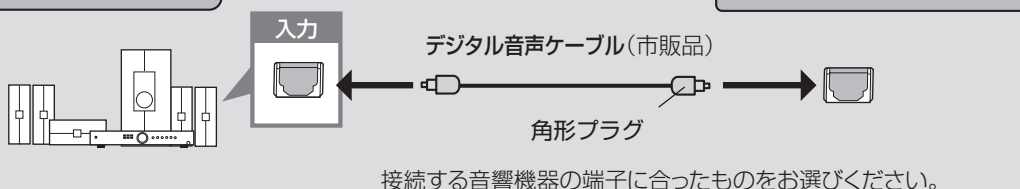
次のページに続く

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

- お手持ちの録画·再生機器の出力端子を確認し、高精細·高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。ただし、高精細·高画質に対応した端子でも標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- つなぐ機器の端子については、機器の取扱説明書を併せてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

オーディオ機器をつなぐ

- 音響機器をつないで、迫力ある音声で楽しむこともできます。

- デジタル音声出力(光)端子に接続するときは、方向をよく確かめて下方向からまっすぐ差し込んでください。
- 無理な力を加えると、端子が破損するおそれがあります。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

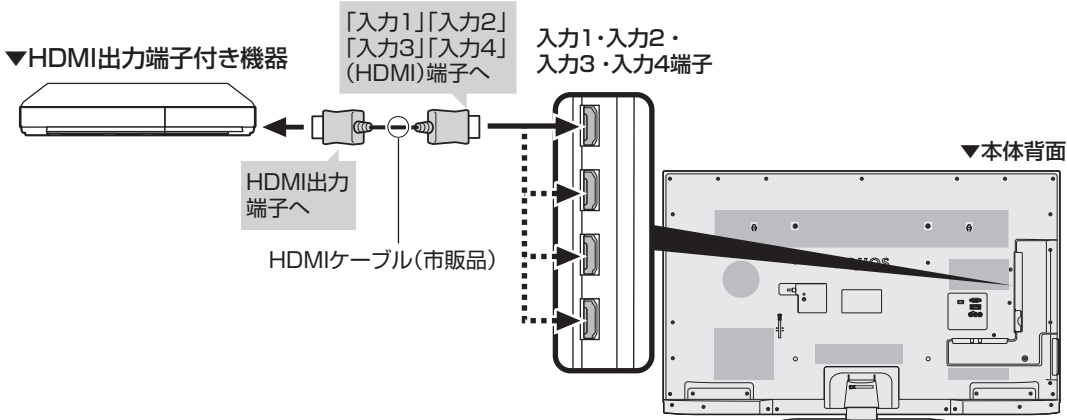
ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できるAQUOS レコーダーは3台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販のHDMI 規格認証品（ハイスピードタイプ推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常に動作しない場合があります。
- 1080p の映像信号を入力するときは、ハイスピードタイプのHDMI ケーブルをお使いください。
- AQUOS レコーダーやAQUOS オーディオをつないで3Dコンテンツをお楽しみいただく場合は3D対応の機器をご使用ください。
- 3D 対応のファミリンク機器についてはSHARP Web ページ内のAQUOS サポートページをご覧ください。

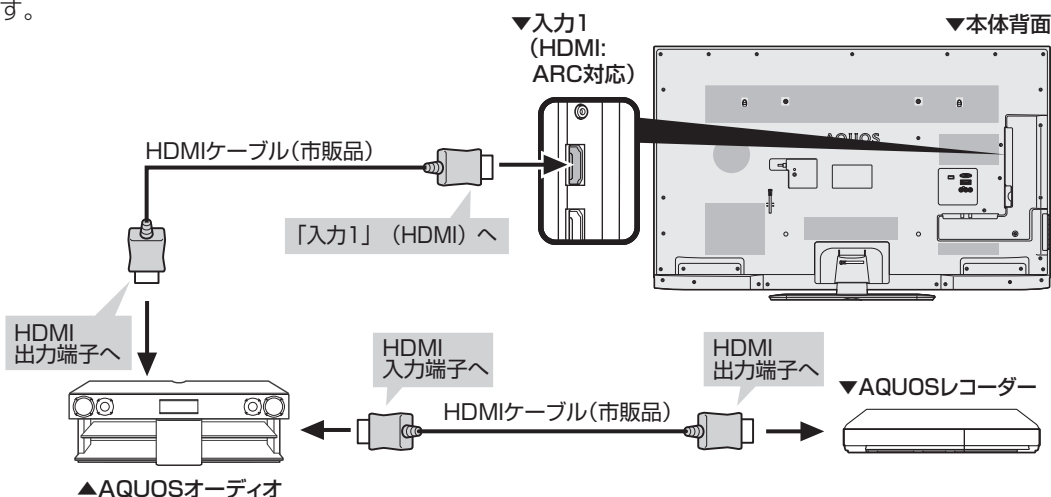
AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/

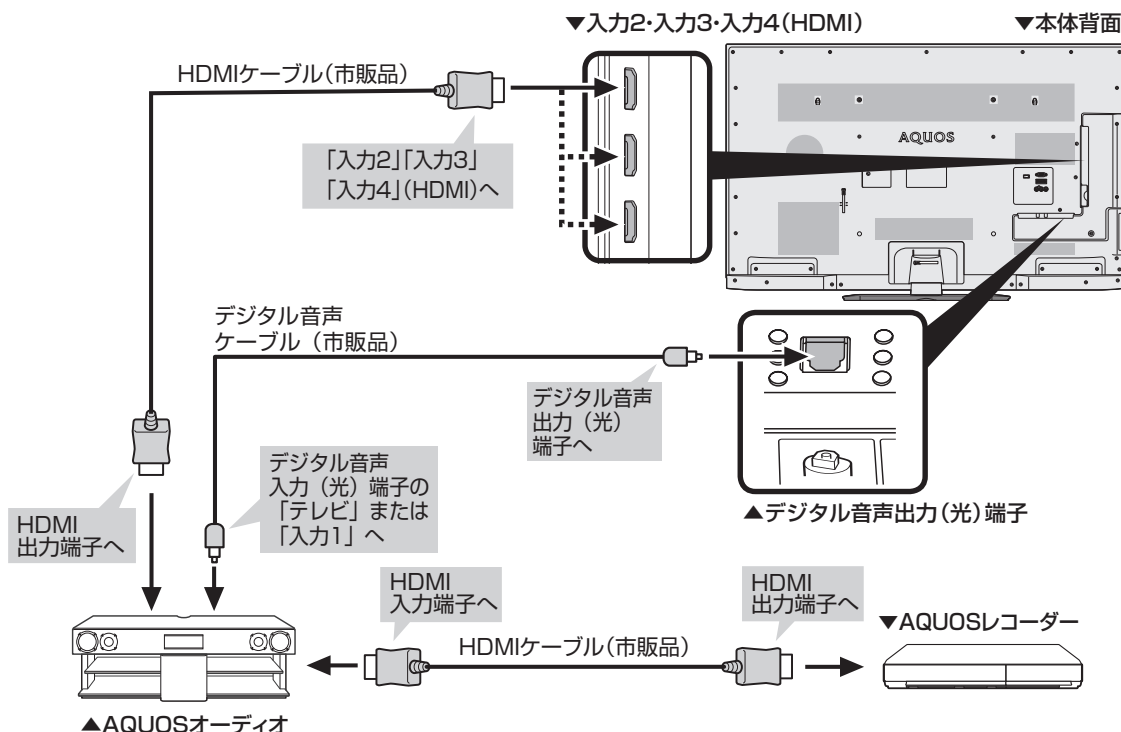
- ３D映像に対応したAQUOS レコーダーをつなぐときは､ハイスピードタイプのHDMIケーブルのご使用をおすすめします。
- ここで説明している接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

◆ 重 要 ◆
- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力1～4に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

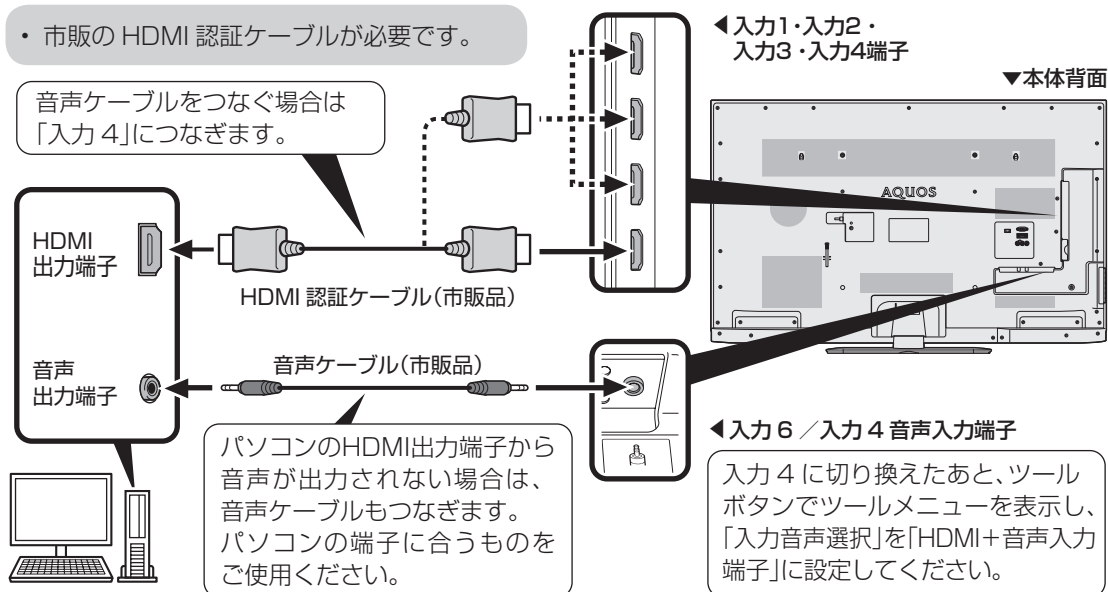
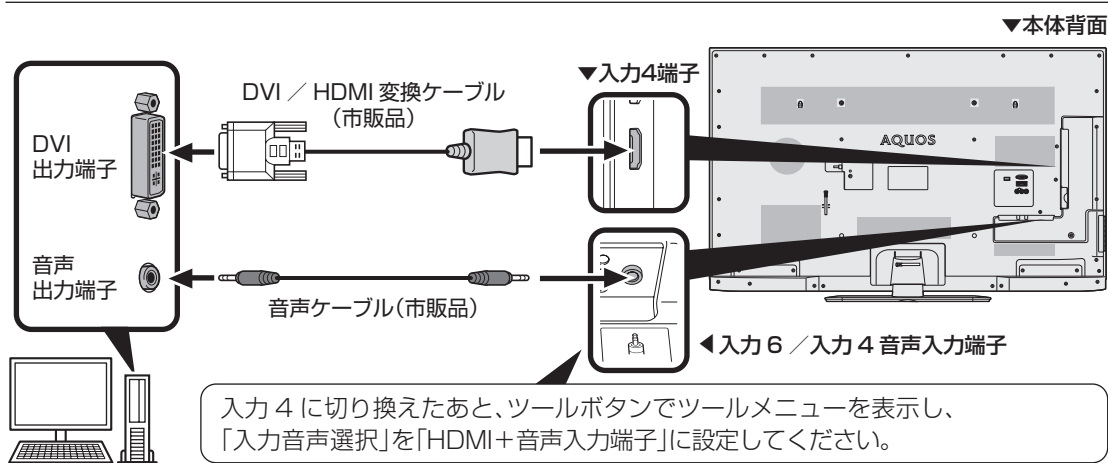
本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

本機の入力 1（HDMI）端子につなぐ場合

- 本機の入力 1（HDMI）端子は ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力 1（HDMI）端子に ARC 対応の AQUOS オーディオをつなぐと、本機から AQUOS オーディオへの音声出力も HDMI ケーブル 1 本で可能なため、デジタル音声ケーブルをつなぐ必要がありません。
- ARC に対応した HDMI ケーブルをお使いください。ARC に対応していない HDMI ケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。
- ARC に対応していない AQUOS オーディオを接続する場合は、デジタル音声ケーブルの接続も必要です。

本機の入力 2、入力 3、入力 4（HDMI）端子につなぐ場合

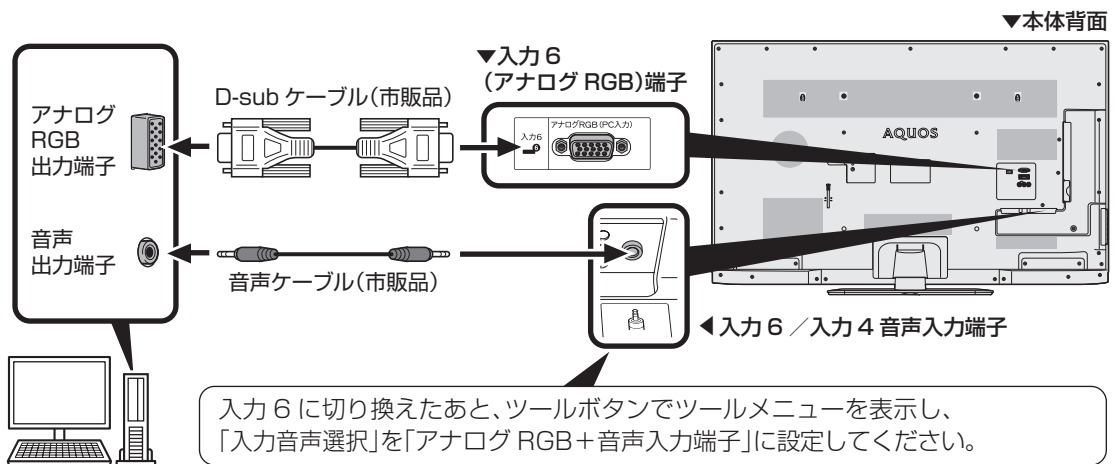
- 本機から AQUOS オーディオに音声信号を出力するために、本機と AQUOS オーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。

パソコンをつなぐ

本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

- 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

本機を DVI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

- 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

本機をアナログ RGB 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）

- 市販の D-sub ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

入力 6 に切り換えたあと、ツールボタンでツールメニューを表示し、
「入力音声選択」を「アナログ RGB＋音声入力端子」に設定してください。

ネットワークにつなぐ

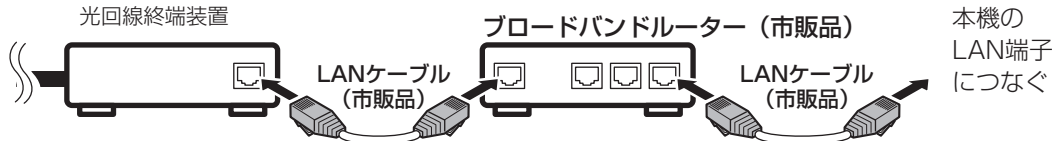
- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- **IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置は LAN ケーブルで接続してください。LAN ケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。**
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度（常時）12Mbps 以上（3D に対応している作品の場合は 16Mbps 以上）の光回線（FTTH）が必要です。

本機をインターネットに接続する

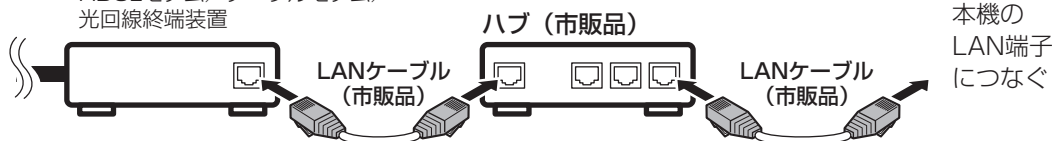
- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 側の端子を LAN ケーブルで接続します。

ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

信号変換機器（ルーター機能なし）
・ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置

接続例

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがない場合

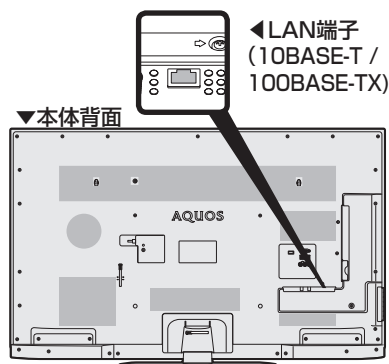
信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置

接続例

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置

接続例

無線LAN環境の場合

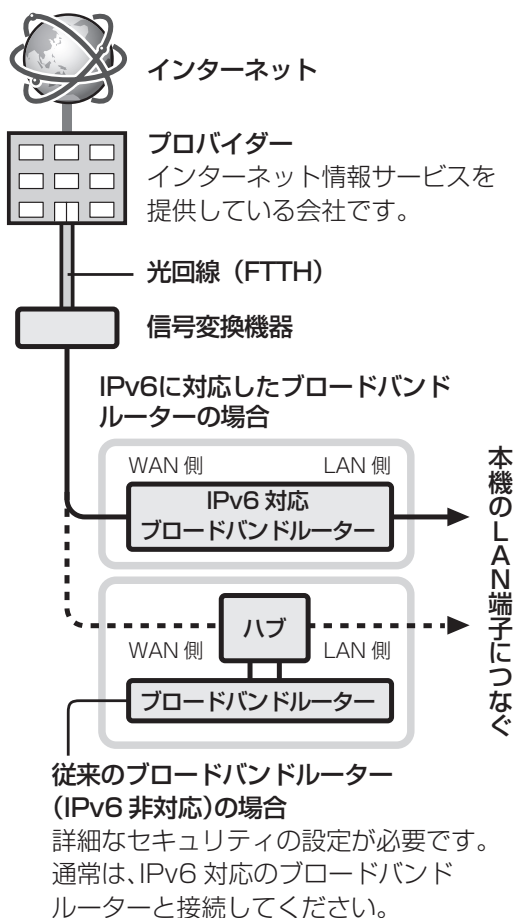
電子取説 「目次から探す」−「インターネット」−「ネットワークの準備」−「かんたん設定を行う」をご覧ください。

IPTV（ひかり TV）を見るための つなぎかた

- ご契約の IPTV サービスによって必要になるブロードバンド環境が異なります。詳しくは IPTV サービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス(STB) は不要です。**

IPv6 環境の場合

- IPTV サービスが、IPv6 方式の場合に必要な接続です。

◆ 重 要 ◆

- **本機の IPv6 接続は IPTV の受信にのみ使用します。**インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4 環境も必要です。

IPv4 環境の場合

- ブロードバンドルーターと本機を接続してください。(⇒ **36** ページ)

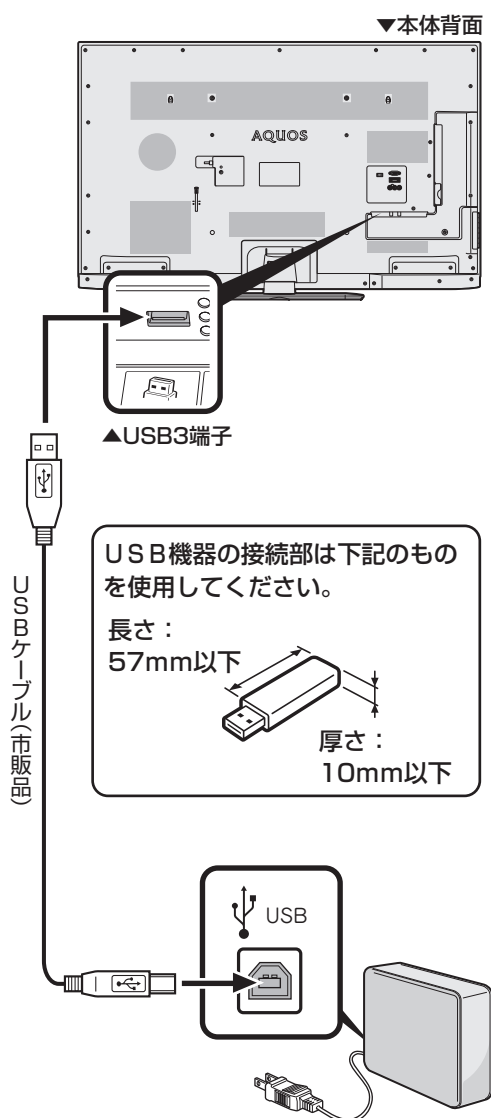
USB ハードディスクを つなぐ

- 本機の **USB3 端子(録画用)**に、市販の USB ハードディスクをつなぎます。**USB3 端子(録画用)**以外に接続した時は、録画用としてご利用になれません。
- 接続には、市販の USB ケーブルを使います。

◆ 重 要 ◆

USB ハードディスクを取りはずすときは

- 電子取説「目次から探す」−「USB ハードディスク」−「準備」−「USB ハードディスクを取りはずすときは」をご覧ください。

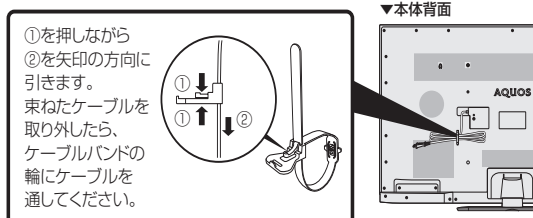
USB ハードディスク
(ホームページで紹介している市販品)

必ず電源を切ってから、接続してください。

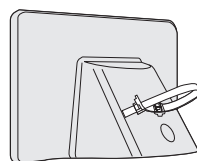
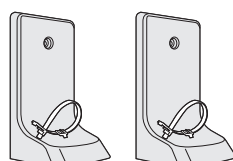
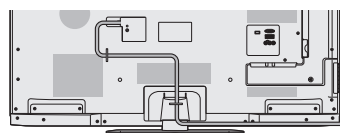
6 電源コードをつなぐ

⚠注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

- 電源コードの電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続します。

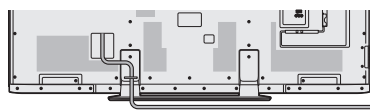
1

- LC-80XL9 をお使いの場合、付属の電源コードを本機につないでください。
- LC-70XL9/LC-60XL9/LC-52XL9/LC-46XL9 をお使いの場合は、束ねられている電源コードを取り外してください。

2 付属のケーブルバンドをスタンドカバーに取り付ける

- LC-80XL9 は 2 本、LC-70XL9/LC-60XL9/LC-52XL9/LC-46XL9 は 1 本取り付けてください。

3

▼LC-52XL9 背面

つないだケーブルやコードを固定する
本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルバンドで固定してください。

▼LC-80XL9 背面

・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

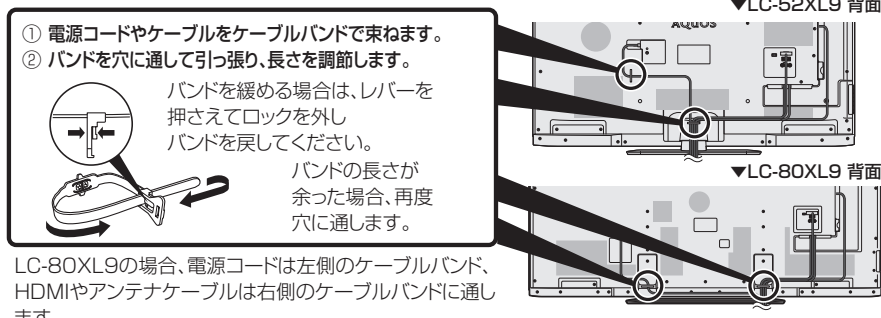
◆ 重 要 ◆

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。(再設定できないものもあります。)
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

つないだケーブルやコードを固定する

- 本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルバンドに通してください。

LC-80XL9の場合、電源コードは左側のケーブルバンド、HDMIやアンテナケーブルは右側のケーブルバンドに通します。

7 本機を固定する（転倒を防ぐ）

⚠注意

- **地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。**
- **転倒･落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒･落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。**
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

・転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

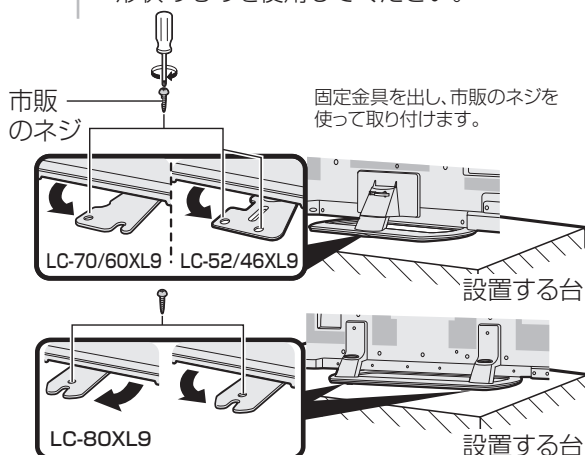
テレビ台などに固定する

◆ 重 要 ◆

- LC-80XL9 の場合は、必ず 3 人以上で作業を行ってください。
- LC-70XL9 ／ LC-60XL9 ／ LC-52XL9 ／ LC-46XL9 の場合は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。（⇒**右記**）

1 設置する台などの上に位置決めする

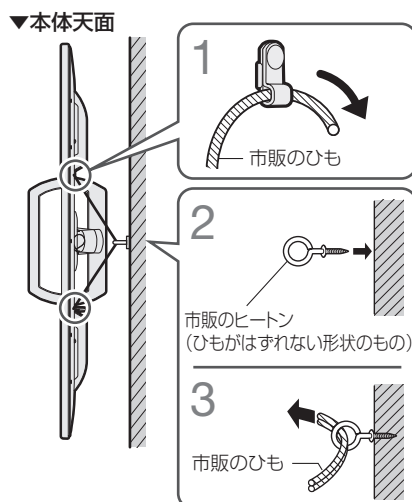
2 市販のネジを使い、固定金具の穴に上からネジを取り付けて固定する

- 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

壁や柱に固定する

1 背面のクランプに市販のひもを取り付ける

2 壁または柱に、市販のヒートン（ひもがはずれない形状のもの）を取り付ける

- 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。

3 クランプと、壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

電源の入れかた

電源を入れる

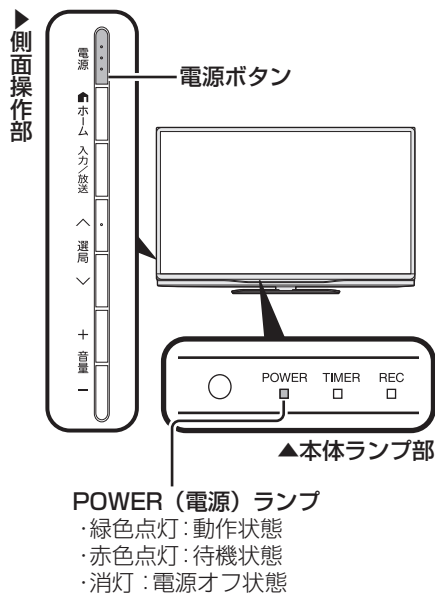
- すべての接続を終了してから、電源を入れてください。

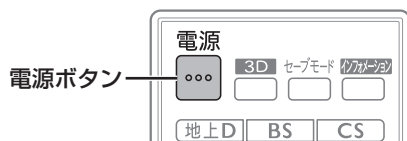
接続などの基本的な準備のながれ

- ⇒ **18** ページをご覧ください。

1 本体の側面操作部にある電源ボタンを押し、電源を入れる

- POWER(電源)ランプが緑色に点灯します。

POWER(電源)ランプ
・緑色点灯:動作状態
・赤色点灯:待機状態
・消灯 :電源オフ状態

2 リモコンの電源ボタンで電源を入/切する

電源 を押す

◆ 重要 ◆

- 電源プラグを抜くときは、⇒**70**ページの手順に従ってください。

◇おしらせ◇

- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。)

消費電力について

- 本体の電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について

- リモコンで電源を入れたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。
- 設定メニューの「(視聴準備)」−「各種設定」−「クイック起動設定」で設定します。(この機能を使用すると待機時の消費電力が増えますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。)

◇おしらせ◇

- スマートフォンとの連携機能をご利用になる場合は、「クイック起動設定」を「する」に設定する必要があります。

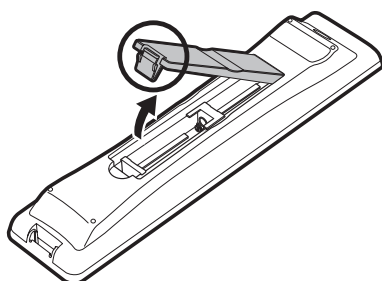
録画予約設定時や録画中は本体の電源ボタンで電源オフにしないでください

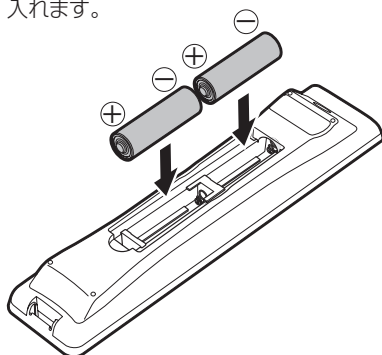
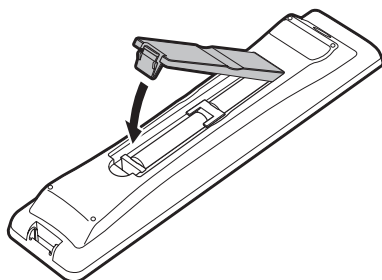
- 設定メニューの「(視聴準備)」−「各種設定」−「電源ボタン設定」を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

リモコンを準備する

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

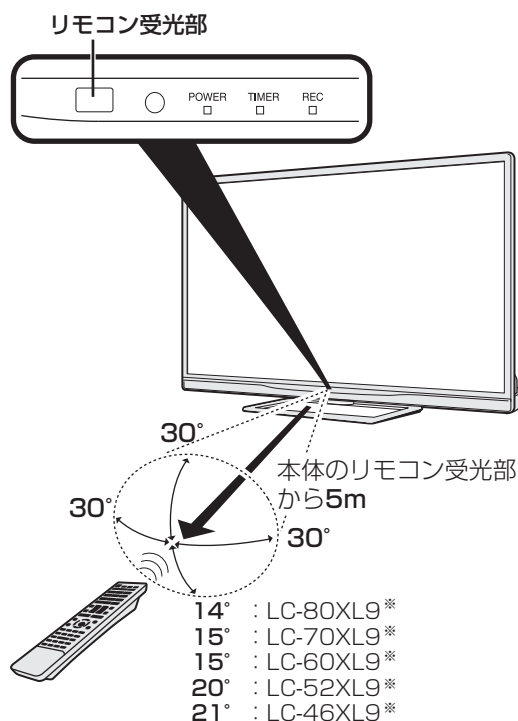
ここを、軽く押しながら、カバーを矢印の方向に持ち上げます。

2 付属の単3形乾電池（アルカリ）を入れる

バネ状の部分に乾電池の⊖がくるように入れます。

3 電池カバーを元どおりに閉める

◇おしらせ◇

乾電池を交換するときは

- 乾電池は単 3 形のアルカリ乾電池をご使用ください。

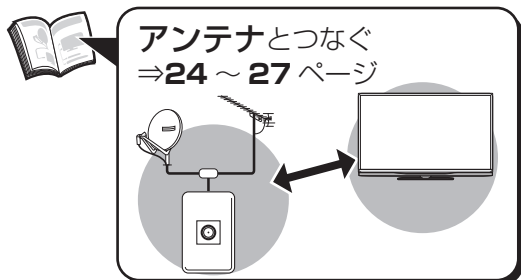
リモコンで操作できる範囲

- リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に 1 個のリモコンボタンを押してください。

※ 壁に掛けて設置するなどスタンドを使用しない場合、下方向の角度は約 30° になります。

◇おしらせ◇

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- 水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号(⇒**68**ページ)を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

かんたん初期設定をする

ビーキャス
B-CASカード
⇒ 23 ページ

- お買いあげ後､B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると｢かんたん初期設定｣の画面が表示されます。画面に従って操作･設定してください。

ネットワーク機能（インターネットや IPTV など）をお使いになる場合は

- ブロードバンドルーターと LAN 端子を市販の LAN ケーブルで接続してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときは

- 設定メニューの｢かんたん初期設定｣を行ってください。(⇒ 46 ページ)

◇**おしらせ**◇

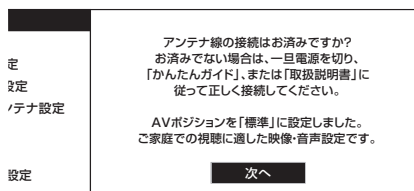
- かんたん初期設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1 メッセージを確認して決定する

を押す

アンテナ線の接続はお済みですか?
お済みでない場合は、一旦電源を切り、
｢かんたんガイド｣、または｢取扱説明書｣に
従って正しく接続してください。

AVポジションを｢標準｣に設定しました。
ご家庭での視聴に適した映像･音声設定です。

次へ

途中で設定を中止するときは

- 電源をお切りください。再度電源を入れると｢かんたん初期設定｣画面が表示されます。

B-CAS カードが正しく挿入されていないときは画面にメッセージが表示されます。内容を確認して、B-CAS カードを正しく挿入してください。

- 電源を切り、⇒ 23 ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

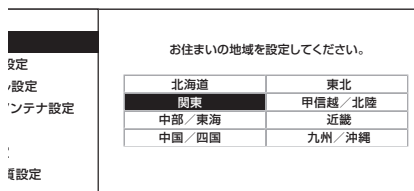
リモコンと本体のリモコン番号が異なるときは

- ｢リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。｣と表示されます。
  ⇒ 68 ～ 69 ページの手順に従ってリモコン番号の設定を行ってください。

2 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び
を押す

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

3 郵便番号を入力する

で入力し
を押す

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

次へ

- ｢0｣を入力するときは 10 を押します。

◆ チャンネルを設定する

4

で選び 決定 を押す

「する」を選ぶ

地上デジタル放送のチャンネル設定をしますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。

現在の地域設定は　○○　です。

する　しない

・チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。

5

決定 を押す

「次へ」で決定する

・手順 **6** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

・**地上デジタル放送を受信できる地域の場合**
下記の「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください。

かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは

・終了ボタンを押し、表示される画面で「する」を選んで、いったん、かんたん初期設定を終了してください。その後設定メニューの「🔧(視聴準備)」−「各種設定」−「電源ボタン設定」を「モード2」にし、本体の電源ボタンで電源を切ってアンテナの接続を確認してください。かんたん初期設定をやり直すときは**46**ページをご覧ください。

◆ BS･CSアンテナを設定する

6

で選び 決定 を押す

「する」または「しない」を選ぶ

・BS･CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順 **8** に進みます。

BS／CSのアンテナを設定しますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。

する　しない

・「する」を選んだときは、「BS ／ CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

次の画面が表示されたときは

・**BS・CS アンテナを接続していないとき**
「次へ」を選び決定ボタンを押してください。

・**BS・CS アンテナを接続しているとき**
左記の「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定

受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。

BS･CS アンテナ電源　オート　入　切

・左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順 **8** の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや移転などでBS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは
(⇒ **52 ～ 53** ページ)

7 受信状態を確認して決定する

決定 を押す

・「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	**前**ページの「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください。

◆ ネットワーク(LAN)設定をする

8 LAN設定をする場合は「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

有線でのLAN接続の設定をしますか?
(インターネットやホームネットワークを
使用する場合は設定が必要です)
接続タイプ:有線接続
無線接続で利用される場合は、
通信(インターネット)設定から行ってください。
する　しない

・LAN 設定をしない場合は「しない」を選び、**次**ページの手順 **15** に進みます。
・LAN 設定が終わるまでしばらくお待ちください。

9 「確認」で決定する

決定 を押す

10 電源を入れたときに表示する画面を設定する

で選び 決定 を押す

起動モード設定を設定します。
電源起動時に表示される画面モードの
設定をします。
通常(テレビ)　ホーム画面(テレビ+情報)

11 ホームネットワーク経由で本機の操作をする場合は「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

AQUOSリモートを使用しますか?
(対応したLAN接続機器からリモコン操作を
行う場合は設定が必要です)
設定すると、ホームネットワーク設定の
リモート再生設定を「許可する」にします。
する　しない

・AQUOS リモートの対応機器についてはAQUOS サポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/

12 「確認」で決定する

決定 を押す

13 IPTV(ひかりTV)を見る場合は「する」を選ぶ

で選び

を押す

IPTV(ひかり TV)を見るには

・IPTV サービスの契約、光回線の契約、ブロードバンド環境が必要です。

14 「次へ」で決定する

決定 を押す

15 画質を設定する場合は「する」を選ぶ

で選び
を押す

- AV ポジションがぴったりセレクトに設定されます。
  「お好み画質設定」は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

16 ①「する」を選ぶ ②お好みの画像を選ぶ ③「次へ」を選ぶ

で選び
を押す

17 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

で選び
を押す

18 メッセージを確認して決定する

を押す

- これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。

番組を選ぶ（基本的な選びかた）
⇒ **47** ページ
放送が受信できないときは
⇒ **58 ～ 61** ページ

◇**おしらせ**◇

- 設定メニューの「✉(お知らせ)」–「システム動作テスト」を選んで、B-CAS カードが正しく挿入されているかをテストできます。

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

- 設定メニューの「（視聴準備）」－「かんたん初期設定」を選びます。
- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（⇒**42** ページ）

110 度 CS デジタル放送を視聴するための準備

- 110 度 CS デジタル放送を初めて選局するときは、CS ネットワーク情報を取得する必要があります。次の手順で操作してください。

1 **CS を押して CS デジタル放送を選ぶ**

2 **1 を押して 100ch を選び、約 5 秒待つ**

3 **2 を押して 001ch を選び、約 5 秒待つ**

- 2012 年 10 月現在 CS001ch は放送されていません。

4 **番組表（予約）を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する**

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

- 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約 5 秒待ちます。（1 または 2 を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約 5 秒待ってください。そのまま待つことで CS ネットワーク情報を取得することができます。）

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

デジタル放送用アンテナの設定をする
（⇒ **52** ページ）

- デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）
（⇒ **54** ページ）

- デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは（⇒**54**ページ）

- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。

デジタル放送のチャンネルの個別設定
（⇒ **55** ページ）

- デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます

地デジ難視対策衛星放送を視聴するための設定

- BS291ch ～ BS298ch は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴する場合は、スキップ設定（⇒**56** ページ）で「BS デジタル」の「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

テレビを見る

1 テレビの電源を入れる

電源 を押す

2 放送の種類を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

- 見たい放送の種類を選びます。

地上D	• 地上デジタル放送
BS	• BS デジタル放送
CS	• 110 度 CS デジタル放送

3 チャンネルを選ぶ

- 1 〜 12 または 選局 を押します。
- 選局 は押すごとに、見ている放送のチャンネルが切り換わります。
- BS デジタル放送視聴中に BS を押すと、表示された BS 新サービスの選局が数字ボタンで行えます。

4 音量を調整する

音量 や 消音 を押す

- 音量ボタンや消音ボタンで調整します。(入力ごとに別々の音量に設定できます。)
- 音量ボタンは、「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。
- 消音ボタンを押すと、一時的に音を消せます。

- 画面下部に音量レベルが表示されます。

番組表の使いかた

- 地上D BS CS を押して、見たい放送の種類を選びます。
- 番組表(予約) を押すと、番組表が表示されます。

番組表の画面例

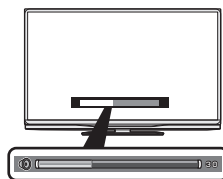
(十字キー)で番組を選び、決定 を押す

放送中の番組を選ぶと

⇒放送中の番組が映ります。

放送前の番組を選ぶと

⇒予約になります。

番組表を消すときは

- 番組表(予約) または 終了 を押します。

本機の入力の切り換えかた

- 入力切換 を押すと、入力切換メニューが表示されます。
- 入力切換メニュー表示中に(十字キー)で接続した機器の入力名を選び、決定 を押します。

連動データ放送の選びかた

- テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動 d を押すと連動データ放送が視聴できます。
- もう一度押すと、テレビ放送に戻せます。

ホーム画面の使いかた

- 本機の操作や設定を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホーム画面」と呼びます。
- ここでは、ホーム画面の見かたや使いかたについて説明します。

ホーム画面の例（インターネット接続状態の画面例です。）

ガイド表示

- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。

ネットサービスゾーン(AQUOS City)

- インターネットを使って利用できるサービスやジャンルが表示されます。
- この項目は 1 ～ 9 で選ぶこともできます。

機能・おすすめ番組ゾーン

- 利用できる機能やおすすめ番組が表示されます。

◇**おしらせ**◇

- ネットサービスゾーンの内容は予告なく URL が変更になったり、サービスが終了することがあります。また、表示されるアイコンも変更になることがあります。
- 本体のボタンでもホーム画面を操作できます。（⇒ **16** ページ）

ホーム画面の基本的な操作のしかた

ホーム画面の操作に使うリモコンのボタン

1 ホーム画面を表示する

を押す

2 目的の項目を選ぶ

- 移動できる方向には、矢印が表示されます。

で選び
決定
を押す

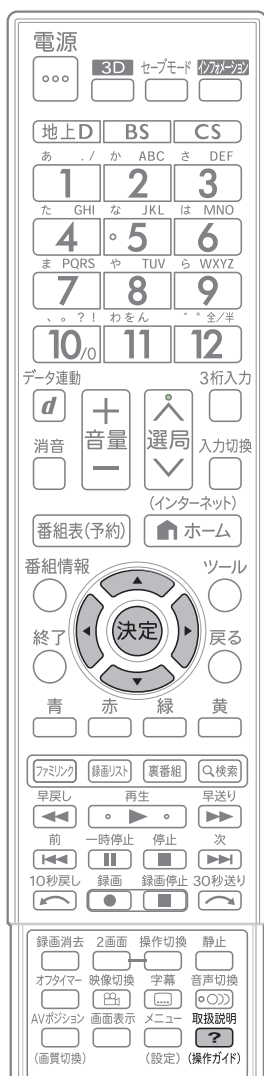
3 さらに目的の項目を選ぶ

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示(⇒**48**ページ)をご覧ください。

で選び
を押す

電子取扱説明書の使いかた

- ご使用中に取扱説明(操作ガイド)を押すと、画面に取扱説明を表示できます。
- もくじや用語から探すときや、故障かな？と思ったときは、視聴中に取扱説明(操作ガイド)を押して、表紙から項目を選んでください。
- 設定メニューなどで、わからない場合は設定項目を選んだ状態か設定画面を表示しているときに取扱説明(操作ガイド)を押すと、その画面の説明が表示されます。

◇**おしらせ**◇
- 次の場合は電子取扱説明書を表示することはできません。
  - 入力切換がホームネットワーク、USB メディアのいずれかになっている場合
  - インターネット機能を使用している場合
  - IPTV 録画中の場合
- 設定画面によっては、表紙が表示される場合があります。

フタを開けたところ

項目を選んで説明を探す

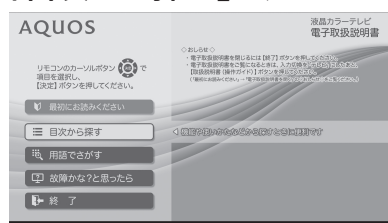
1 取扱説明(操作ガイド)を押す

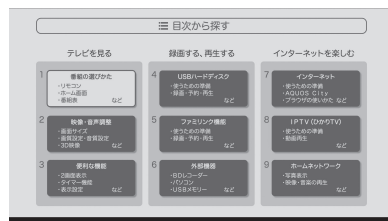
視聴中に、電子取扱説明書を表示する

設定メニューを表示している場合
- 選んでいる項目の説明が表示されます。

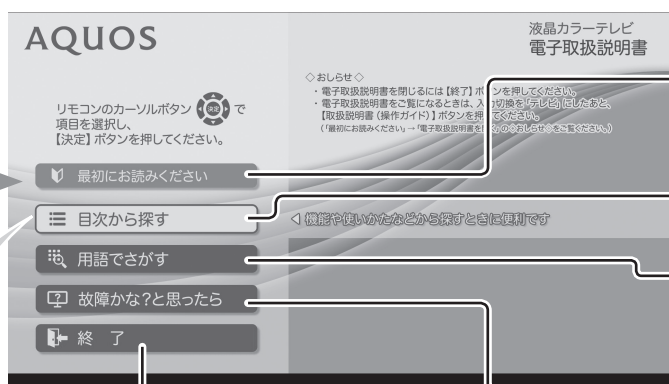
2 で選び 決定 を押す

「目次から探す」を選ぶ

3 で選び 決定 を押す

知りたい内容に当てはまる項目を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

説明のタイトルを選ぶ

- 左右カーソルボタンでページを切り換えられます。
- 選んだ説明が表示されます。
- 画面上の下線が付いている文字を選んで、決定すると関連する説明が表示されます。

電子取扱説明書の最初の画面について

- 電子取扱説明書のかんたんな使いかたや注意事項を記載しています。
- 機能や使いかたなどから探せます。
- 知りたい内容を用語（五十音順やアルファベット順）で探せます。
- 故障かな？と思ったときはご確認ください。（⇒ **64** ページ）
- 電子取扱説明書を終了します。

「目次から探す」の中の記載内容例について

番組の選びかた
・リモコン
・ホーム画面
・番組表　など

テレビを見るための基本操作、文字入力のしかた、用語について説明しています。

USBハードディスク
・使うための準備
・録画・予約・再生　など

USB ハードディスクを使って録画・再生する方法を説明しています。

インターネット
・使うための準備
・AQUOS City
・ブラウザの使いかた　など

テレビを有線／無線 LAN につなぎ、インターネットのコンテンツを楽しめます。

映像・音声調整
・画面サイズ
・画質設定・音質設定
・3D映像　など

映像や音声をお好みに合うように調整する方法や3D 表示について説明しています。

ファミリンク機能
・使うための準備
・録画・予約・再生　など

ファミリンクに対応しているレコーダーやオーディオ機器などの活用のしかたを説明しています。

IPTV（ひかりTV）
・使うための準備
・動画再生　など

IPTV（ひかり TV）を見るための操作、インターネット上の動画再生のしかたを説明しています。

便利な機能
・2画面表示
・タイマー機能
・表示設定　など

視聴中の便利な機能、2画面表示のしかた、タイマー機能、表示やその他の設定のしかたを説明しています。

外部機器
・BDレコーダー
・パソコン
・USBメモリー　など

BD レコーダーやパソコンの画面、USB メモリーに保存している画像などの表示のしかたを説明しています。

ホームネットワーク
・写真表示
・映像・音楽の再生　など

ホームネットワーク上のレコーダーやメディアサーバーなどの活用のしかたを説明しています。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」(⇒**42・46**ページ)を行ってください。)
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内　容
オート	• 個人でアンテナを設置しているときに選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。(リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。)
入	• 「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CSアンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重　要 ◆

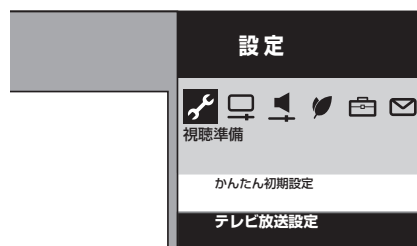
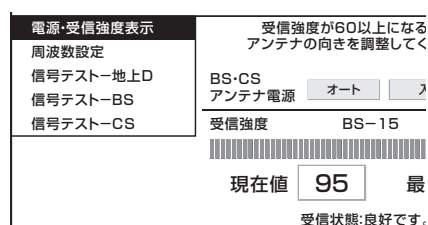
- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 BS を押す

BSデジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定はできます。

2 メニュー（設定）を押し　で選び　決定 を押す

設定メニューを表示して、「(視聴準備)」−「テレビ放送設定」を選ぶ

3 で選び　決定 を押す

「アンテナ設定」を選ぶ

4 で選び　決定 を押す

「電源・受信強度表示」を選ぶ

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テスト−地上D
信号テスト−BS
信号テスト−CS

受信強度が60以上になる
アンテナの向きを調整してく
BS・CS アンテナ電源　オート
受信強度　BS−15
現在値 95　最
受信状態:良好です。

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5

で選ぶ

「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

◆ 受信強度の調整

6

受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7

決定

を押す

調整が終わったら決定ボタンを押す

- 操作を終了する場合は、メニュー（設定）ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 手順 **6** で「受信状態: 良好です。【A】」と表示されないときは、**44** ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- 手順 **5** または手順 **6** の画面で、「受信状態一覧へ」を選び決定を押すと受信状態一覧画面が表示されます。(⇒ **58** ページ)
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。）
  ※受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1

52ページの手順1～3を行い、「信号テストーBS」を選び、決定する

2

カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する

- 「受信状態: 良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態: 良好です。【A】」と表示されないときは、**44** ページをご覧になり、適切な処置を行ってください。

3

カーソルボタンで「終了」を選び、決定する

- 操作を終了する場合は、メニュー（設定）ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

- 手順 **1**（**52** ページの手順 **4**）で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- 手順 **1**（**52** ページの手順 **4**）で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  （例: BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- お住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。
- チャンネル設定（⇒**右記**）の前に、必ず地域設定をしてください。

地域選択

- 設定メニューの「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」－「地域設定」－「地域選択」を選び、お住まいの地域を選びます。

◇**おしらせ**◇
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル－自動」を行ってください。

郵便番号設定

- 設定メニューの「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」－「地域設定」－「郵便番号設定」を選び、お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10/0 で入力します。
- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、入力をやり直します。

◇**おしらせ**◇
- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10/0 を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」（⇒左記）をしてください。**
- 地上デジタル放送を選んだ状態で、設定メニューの「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」－「チャンネル設定」－「地上デジタル」－「地上デジタル－自動」を選び、「する」を選びます。
- チャンネル設定が終わると結果の画面が表示されます。受信状態が悪い場合は、画面に表示される対処方法が必要です。

◆ **重　要** ◆
- 「地上デジタル－自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、「地上デジタル－自動」の代わりに「地上デジタル－追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について
- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF 帯）です。「トランスモジュレーション方式」の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変更して区別できます。 （地上デジタル放送の場合のみ）
スキップ	• 選局ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

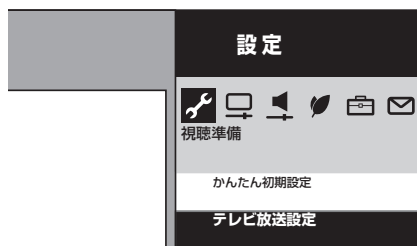
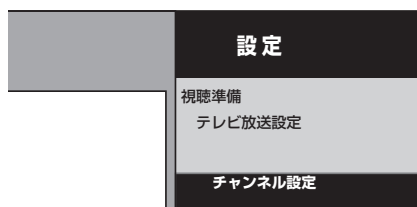
1 デジタル放送を選ぶ

- 地上D BS CSのいずれかを押します。

2 設定メニューを表示して、「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

メニュー（設定）を押し
で選び
決定を押す

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び
決定を押す

4 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選ぶ

で選び
決定を押す

地上デジタル	地上デジタル放送の受信チャンネルの
BSデジタル	（チャンネル設定をする前に、必ず地
CSデジタル	お住まいの地域に設定しておいてく

- 「地上デジタル」を選んだ場合は、手順**5**に進みます。
- 「BSデジタル」または「CSデジタル」を選んだ場合は、手順**6**に進みます。

5 「地上デジタル－個別」を選ぶ

で選び
決定を押す

		チャンネル	3桁
地上デジタル－自動			
－追加	テレビ 1	●●●●●	051
－個別	テレビ 2	●●●●●	061
－選局順	テレビ 3	●●●●●	121
チャンネル更新設定	テレビ 4	●●●●●	041
	テレビ 5	●●●●●	021

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1 ～ 12 の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3 桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう 1 桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

次のページに続く

6 変更したいチャンネルを選ぶ

で選び
を押す

7 「数字ボタン」を選ぶ

で選び 決定 を押す

ルー自動	チャンネル	3桁	スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051-1	
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	051-2	
ー選局順	テレビ 3 ●●●●●	121	
更新設定	テレビ 4 ●●●●●	041	
	テレビ 5 ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、1～9を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、**右記**のチャンネルスキップ設定と連動します。

8 入力欄に数字を入力して決定する

～
で入力し 決定 を押す

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。（枝番の場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。）

  数字ボタンを置き換える場合

  手順 **9** に進みます。

  置き換えずに別の数字にする場合

  画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

9 「確認」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、メニュー（設定）ボタンを押します。

チャンネルスキップ設定

1 「地上D」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ

2 設定メニューを表示して、「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

3 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する

4 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する

5 上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する

- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されます。
- CS デジタルの場合、3 桁チャンネルの範囲を選び手順 **7** に進みます。

6 カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する

- 「一括設定」を選んだ場合は、手順 **8** に進んでください。
- 「個別設定」を選んだ場合は、手順 **7** へ進みます。

7 スキップしたいチャンネルを選び、決定する

8 カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する

両方する	• 選局時と番組表のどちらもスキップします。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	• 番組表のみ表示されなくなります。 • 選局時は表示されます。
選局のみ	• 選局時のみ表示されなくなります。 • 番組表には表示されます。
両方しない	• 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 操作を終了する場合は、メニュー（設定）ボタンを押します。

◇おしらせ◇

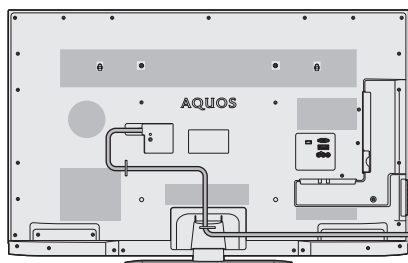
- 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch ～ BS298ch)は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BS デジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に**57〜64**ページまでの内容と電子取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をもう一度お調べください。
- アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（⇒ **82** ページ）をご覧ください。

まず確認してください

電源が入らない

▼本体背面

電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください(⇒ 38 ページ)

・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

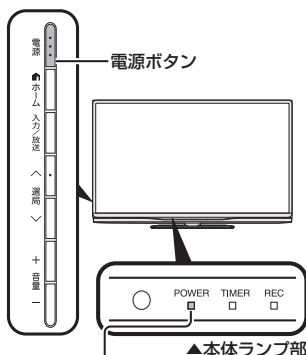
電源プラグ

電源コンセント（AC100V）

※電源プラグはイラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

▶側面操作部

電源ボタン

電源 ホーム 入力/放送 選局 音量

ランプが点灯していないときは、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。(⇒ 40 ページ)

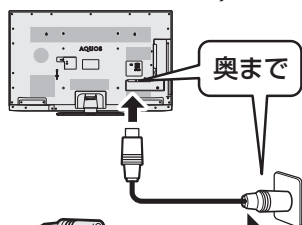
POWER TIMER REC

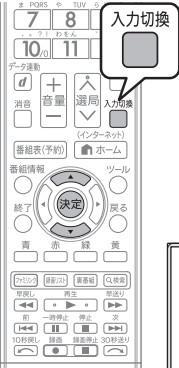
▲本体ランプ部

POWER（電源）ランプ
- ·緑色点灯：動作状態
- ·赤色点灯：待機状態
- ·消灯：電源オフ状態

◇**おしらせ**◇
- 本機は本体の電源ボタンを押して切ってもPOWER(電源)ランプは消えません。リモコンでも電源を入れることができます。
- POWER(電源)ランプを消し、リモコンで電源が入らないようにするには、設定メニューの「（視聴準備）」−「各種設定」−「電源ボタン設定」を「モード2」にしてください。

TV 放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください(⇒ 24 〜 27 ページ)

アンテナケーブルの端子部の芯線が曲がっていませんか

ビデオ・DVD が見られない

リモコンの入力切換ボタンを押し、上下カーソルボタンで見たい機器の入力を選んで決定ボタンを押してください。

放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

- 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。(画面は一例です。)

BS 103chが受信できません。【E202】 リモコンで放送切換や選局を確認ください。 アンテナの調整・接続を確認ください。 (?) 取扱説明(操作ガイド)で確認します (決定) で受信強度を確認します	現在放送されていません。 【E203】 番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で 一時的に受信できない場合もあります。 (?) 取扱説明(操作ガイド)で確認します (決定) で受信強度を確認します

このような画面が表示されているときに(決定)を押すと、選局しているチャンネルの受信強度が表示されます。受信状態に応じた対処が必要です。(画面は一例です。)

受信状態の一覧画面について(画面は一例です)

- デジタル放送の各チャンネルの受信強度や地上デジタル放送で受信できるチャンネルなどが確認できます。

<地上デジタル>

放送局	物理CH	3桁	受信強度 xxxx/xx/xx	受信強度 現在	状態
NHK総合・東京	UXX 011	1	87	64	A
NHK Eテレ東京	UXX 021	2	87	65	A
日本テレビ	UXX 041	4	90	66	A
TBS	UXX 061	6	82	41	C
フジテレビジョン	UXX 081	8	77	35	C
テレビ朝日	UXX 051	5	85	53	B
テレビ東京	UXX 071	7	80	39	C
放送大学	UXX 121	12	80	43	C
tvk	UXX −		32	0	☆E

☆が示されているチャンネルは隣接地域向け放送であるため、この地域では受信強度が十分確保できない可能性があります。

<BS・CSアンテナ>

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態	CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS−1	94	A	CS−2	90	A
BS−3	94	A	CS−4	86	A
BS−5	94	A	CS−6	67	A
BS−7	94	A	CS−8	69	A
BS−9	94	A	CS−10	46	B
BS−11	94	A	CS−12	45	B
BS−13	94	A	CS−14	43	B
BS−15	94	A	CS−16	56	D
BS−17	94	A	CS−18	42	B
BS−19	94	A	CS−20	31	B
BS−21	94	A	CS−22	41	C
BS−23	94	A	CS−24	1	C

- 受信状態の一覧は、直前に視聴していた放送(「地上デジタル」または「BS デジタル」「110 度 CS デジタル」のいずれか一方)が表示されます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- (決定)を押します。(表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。)

受信状態一覧の画面を消すときは

- (終了)を押します。

受信できないチャンネルがあるときは

受信状態一覧の、【ここをお確かめください】の表示内容を確認してください。

【ここをお確かめください】

テレビ　受信状態一覧　11/ 3［火］午前11:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
（決定）キーを押すと受信状態を再確認することができます。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS･CSアンテナが、BSデジタル･110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS･CSアンテナがBSデジタル･110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

- 地上デジタル放送用アンテナとの接続について⇒ **24** ～ **27** ページをご覧ください。
- BS･110 度 CS 放送用アンテナとの接続について⇒ **24** ～ **27** ページをご覧ください。
- 「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」⇒ **60** ページもご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **46** ページをご覧ください。
- 受信している放送局をリモコンの数字ボタンに割り当てることができます。
  数字ボタンが割り当てられていない場合は、3 桁入力で選局できます。

▼地上デジタル放送の受信状態一覧

<地上デジタル>

放送局	物理CH	3桁	受信強度 xxxx/xx/xx	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	UXX 011	1	87	64	A
NHK Eテレ東京	UXX 021	2	87	65	A
日本テレビ	UXX 041	4	90	66	A
TBS	UXX 061	6	82	41	C
フジテレビジョン	UXX 081	8	77	35	C
テレビ朝日	UXX 051	5	85	53	B
テレビ東京	UXX 071	7	80	39	C
放送大学	UXX 121	12	80	43	C
tvk	UXX –		32	0	☆E

- リモコンの数字ボタンを割り当てるには
  ⇒ **55** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

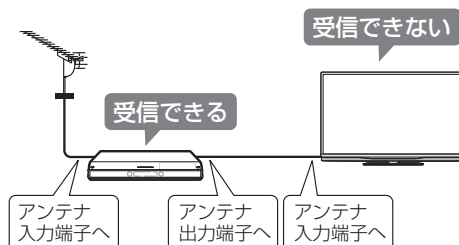
BS･110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
  BS･110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

アンテナ接続の
ワンポイントアドバイス

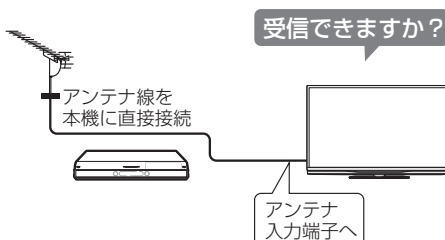
・お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

こんなときは

アンテナ線を、レコーダーを経由して本機に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

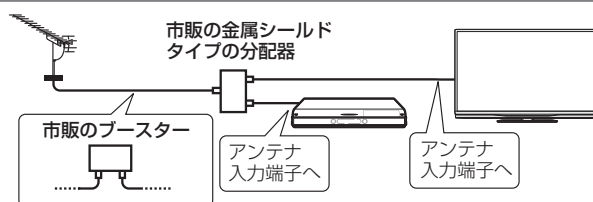
レコーダーに接続しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

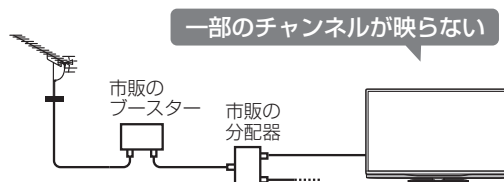
本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。

・レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

それでも受信できない場合は…

・アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。

（レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

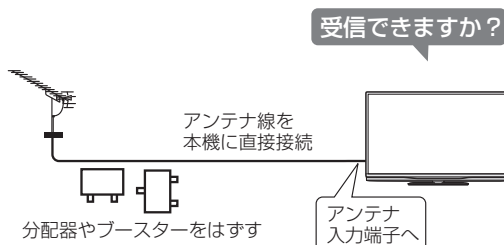
正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。

・分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

受信できますか？

アンテナ線を
本機に直接接続

分配器やブースターをはずす

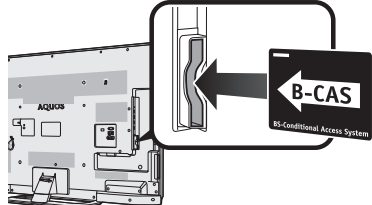
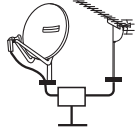
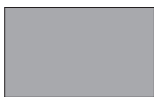
アンテナ
入力端子へ

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…

・ご購入のご販売店などにご相談ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
映像も音声も出ない	• アンテナケーブルは接続されていますか。 • 端子を間違えて接続していませんか。 • アンテナケーブルが切れていませんか。 • BS·CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。 • B-CAS カードは正しく挿入されていますか。	24～27·60 ー ー 52～53 23
映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。	• アンテナの向きは正しいですか。 •「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、電子取説「故障かな？と思ったら」－「テレビ放送の受信」－「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」をご覧になり必要な処置をしてください。 信号テスト－BS / 信号テスト－CS / BS－21 / BS－23 / 終了 / 受信強度 BS－3 / 現在値 95 / 最大値 95 / 受信状態:良好です。【A】 • 110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	ー 52～53 ー
BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	• WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。 • 地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570-08-2200)	65 56
110度CSデジタル放送が視聴できない	• アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域(2.6GHz) まで対応のものを使用していますか。	24～27
画面にノイズが出る	• ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。 • アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	ー 24～27·60
特定のチャンネルだけ映らない	• 有料放送は視聴契約が必要です。 • アンテナの受信強度を確認してください。	65 52～53

• アンテナの接続については、**24 ～ 27**、**60** ページをご覧ください。

本機の動作について確かめること

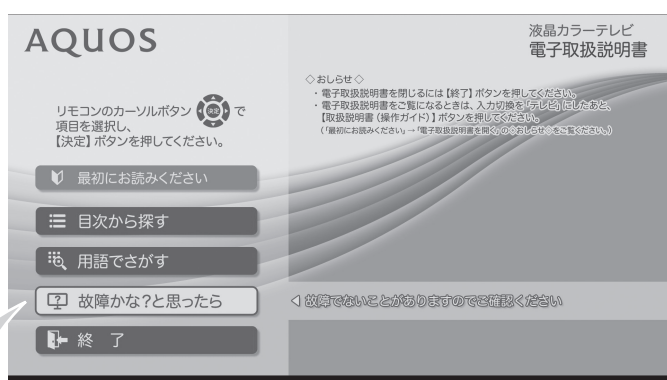
こんなときに	ここをお確かめください	ページ
? 映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・POWER(電源)ランプが緑色に点灯していますか。 ・テレビ放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 ・接続ケーブルが抜けていませんか。	38 40 47 47 –
リモコンが動作しない	・POWER(電源)ランプが緑色に点灯していますか。 ・乾電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 ・リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 ・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 照明の向きを変えるなどしてみてください。 ・蛍光灯などが近くにありませんか。 ・受信設備の消耗減衰のために(映り等に影響する場合もあります)操作切換が遅くなることがあります。(天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。) ・電池の端子が酸化(薄黒く)していませんか。室温が極端に低下していませんか。	40 41 41 41 68~69 –
音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。選局ボタンを押してみてください。 ・映像ケーブルが抜けていませんか。	– 28
テレビ本体の一部が熱い	・本体の天面、パネル面、背面などの一部が、バックライトや基板の発熱により温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。温度の上昇を抑えるには、設定メニューから映像調整の明るさを暗めに調整して使用ください。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	–
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	・本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 ・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 ・本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	– – –

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
リモコンや本体のボタンの操作ができない	• チャイルドロックが設定されていませんか。 • 本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 • 本体の電源ボタンを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、電源プラグをコンセントから抜いて約1分待ってから電源を入れ、操作をやりなおしてください。再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。	**ー** **68~69** **ー**

停電時は、設定が保持される項目と解除される項目があります

- テレビにおける設定内容(設定項目、音量など)は保持されます。
- 番組予約(視聴予約／録画予約)が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、設定メニューの「 (視聴準備)」−「各種設定」−「画面表示ボタン設定」−「時計設定」−「時刻設定」で設定してください。
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  静止画・オフタイマー・消音(消音ボタンによる)・映像オフ・2 画面

電子取扱説明書のメニューについて

• 電子取扱説明書の「故障かな？と思ったら」には次の内容が掲載されています。
• 故障かなと思ったときは本書とともにご確認ください。

全般

本機の操作や電源に関して故障かなと思ったときにご覧ください。

3D映像

3D 映像を視聴できない場合にご覧ください。

無線LAN

無線 LAN で接続できない場合や無線 LAN に関するエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

映像・音声

音声が出ない、画面が暗いなど、映像や音声に関して故障かなと思ったときにご覧ください。

USBハードディスク

USB ハードディスクの録画･再生ができない場合や USB ハードディスクに関するエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

IPTV

IPTV をご利用中に、お困りの場合はご覧ください。

テレビ放送の受信

放送が映らない、映りが悪いなど、テレビ放送の受信に関して故障かなと思ったときや受信強度、受信･視聴、B-CAS カードに関するエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

インターネット

インターネットに関して故障かなと思ったときにご覧ください。

その他

ファミリンクや USB メディア、ホームネットワークなどをご利用中にお困りの場合や、これらのエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

有料放送の受信について

WOWOW やスカパー！などの有料放送を見るときは

• 有料放送を視聴するには、スカパー！などの各プラットホーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。

（2012 年 10 月現在）

有料BS・110度CSデジタル放送局

WOWOW

• **カスタマーセンター**
電話番号：0120-580807
受付　　：9：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ：http://www.wowow.co.jp/

スター・チャンネル

• **スター・チャンネル　カスタマーセンター**
電話番号：0570-013-111（ナビダイヤル）
PHS、IP 電話のお客様は 045-339-0399
受付　　：10：00 ～ 18：00
ホームページ：http://www.star-ch.jp/

• スター・チャンネル　ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！ カスタマー センター（総合窓口）へお問い合わせください。

110度CSデジタル衛星サービス会社

スカパー！

• **スカパー！ カスタマーセンター（総合窓口）**
電話番号：0570-039-888（ナビダイヤル）
PHS、IP 電話のお客様は 03-4334-7777
受付　　：10：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ：http://www.skyperfectv.co.jp/

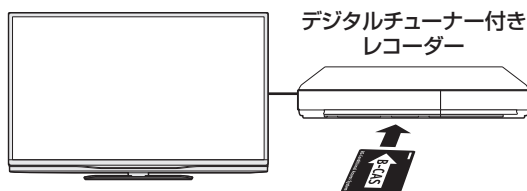
◇**おしらせ**◇

• 本機には電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

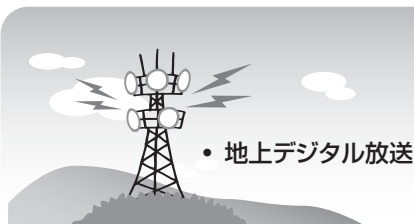
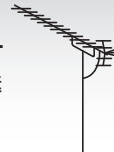
本機のレコーダー機能で有料放送を録画する場合には

• 本機の USB ハードディスクへの録画機能で有料放送を録画する場合には、本機に付属している B-CAS カードを有料放送の受信契約時に登録し、本機に挿入してください。

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合には

• お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。

有料放送で登録したB-CASカードは、レコーダーに挿入します。

• レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンを押し、上下カーソルボタンでレコーダーが接続されている外部入力を選び、決定ボタンを押してください。

受信できる放送の種類について

UHF アンテナ
地上デジタル放送
を受信できます。

◆ 重 要 ◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化･消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

地上デジタル放送

- 2003 年 12 月から東京･大阪･名古屋の 3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年 12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネルの放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応のアンテナであればそのまま使えます(取り替えや調整が必要になることもあります)。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は「パススルー方式」(UHF 帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF 帯)です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

デジタル放送のその他の特長

B-CAS カード

- **デジタル放送を受信するには、B-CAS カードが必要です。本機に B-CAS カードを入れてください。**(⇒ **23** ページ)

臨時放送(臨時編成サービス)

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
  ※ ファミリンク録画予約(電子取説「目次から探す」－「ファミリンク機能」－「本機の番組表で AQUOS レコーダーに録画予約する」)の場合、お使いの AQUOS レコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。映像切換ボタンで切り換えます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示･選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字(ブックマークアイコン)が表示されます。インターネットのブックマークとは異なります。

◇**おしらせ**◇

- ARIB 放送規格の変更により、本機の設定メニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

- BSデジタル放送
- 110度CSデジタル放送

BS・110 度 CS 共用アンテナ
BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
(他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。)

BS デジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch ～ BS298ch)は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。(スキップ設定⇒**56**ページ)
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送(独立データ放送･番組に連動したデータ放送)

受信に必要なアンテナ

- BS･110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星(Communication Satellite)を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。
- 受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード(掲示板)機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

- BS･110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。
- **従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域(2.6GHz)まで対応したものに交換する必要があります。**

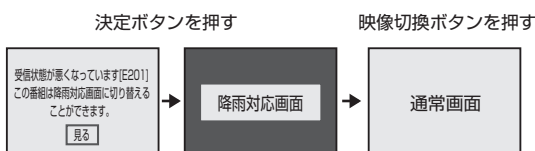
BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨･降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。映像切換ボタンで元の映像に戻れます。

(画面例)

決定ボタンを押す　　映像切換ボタンを押す

受信状態が悪くなっています[E201]
この番組は降雨対応画面に切り替える
ことができます。
見る
→ 降雨対応画面 → 通常画面

110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード(掲示板)

- プラットホーム(スカパー！)単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。設定メニューの「✉(お知らせ)」－「ボード(CS デジタル)」でボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。

(画面例)

2 台の AQUOS をそれぞれのリモコンで操作するには

・2 台の AQUOS を近くに設置している場合に、リモコンの操作で AQUOS が 2 台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他の AQUOS の動作を防ぐことができます。

リモコン番号について

・リモコン番号には「1」「2」があります。リモコン側と本体側の番号を合わせてください。
・2 台の AQUOS を近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他の AQUOS と異なる番号に設定してお使いください。例えば、他の AQUOS が「1」なら本機は「2」にします。
・設定されている番号が本体とリモコンとで異なっていると、リモコンボタンを続けて押したとき、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。
・個人情報を初期化すると本体のリモコン番号は「1」に戻ります。

◇**おしらせ**◇
・工場出荷時の設定は、本体側・リモコン側ともリモコン番号「1」です。

本体側とリモコン側のリモコン番号を設定する

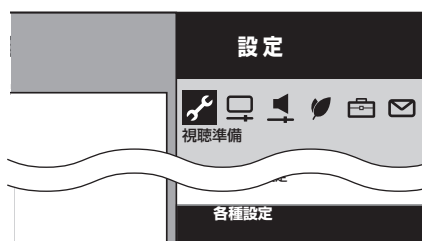
◆ **重　要** ◆
・先にリモコン側の番号を変更すると、リモコンで本体側の設定が行えません。

本体側のリモコン番号を切り換える

1 設定メニューを表示して、「(視聴準備)」−「各種設定」を選ぶ

メニュー（設定）を押し
で選び
決定を押す

2 「リモコン番号設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選ぶ

で選び
を押す

本機のリモコン番号を切換えます。
本機：リモコン番号1

リモコン番号2

4 「する」を選ぶ

で選び
を押す

本機のリモコン番号を2に変更します。
リモコン番号を変更しますか？

しない

本機のリモコン番号を変更した後は、
リモコン側のリモコン番号も合わせてください。
（詳しい設定方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。）

◆ リモコン側のリモコン番号を切り換える

5 **リモコンの「1」または「2」を押した状態で電源ボタンを5秒以上押す**

- **前**ページ手順 **3** で選んだリモコン番号と同じ番号にしてください。

上記の手順 5 で使うボタン
1 2 のどちらか一方を押しながら 電源 を 5 秒以上押します。
- 1 の場合、リモコン番号 1 になります。
- 2 の場合、リモコン番号 2 になります。

フタを開けたところ

本体側のリモコン番号をリモコン側に合わせるときに使うボタン

リモコン側と本体側でリモコン番号が異なるときは

- 本体側のリモコン番号を、リモコン側のリモコン番号に合わせます。

1 **リモコン番号が異なるときに、画面表示ボタンを5秒以上押し続ける**

画面表示 を押す

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されます。

2 **メッセージを確認し、「する」を選ぶ**

で選び 決定 を押す

▼本体側のリモコン番号変更画面

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機　：リモコン番号1
リモコン　：リモコン番号2

する　しない

- リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。
- 設定されているリモコン番号が本体側とリモコン側とで異なっている場合、リモコンのボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。

◇おしらせ◇

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されてから、約 20 秒以内に操作を行ってください。約 20 秒を経過すると、画面が消えます。
- 乾電池が消耗したり、乾電池を交換したときに、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ることがあります。

本体のボタンで、本体側のリモコン番号を設定するには

1 **本体の入力／放送切換（決定）ボタンを 5 秒以上押し続けて、リモコン番号切換メニューを表示する**

2 **本体の音量（＋／－）ボタンで「リモコン番号 1」または「リモコン番号2」を選択する**

3 **本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定する**

本機を電源オフにするときは／電源プラグを抜くときは

- 本体の電源ボタンで本機の電源をオフにしたいときは、「電源ボタン設定」を「モード２」にしてください。
  「モード１」に設定されていると、本体の電源ボタンを押しても「待機状態」となり、電源オフにはなりません。

「電源ボタン設定」について

項目	内容
モード１	• 本体の電源ボタンを押すと、本機が「待機状態」になります。USB ハードディスクへの録画中や録画予約設定中に本体の電源ボタンを押しても、録画が正常に行われるための設定です。
モード２	• 本体の電源ボタンを押すと、本機が電源オフになります。 録画中の場合は録画が中断されます。 録画予約が設定されている場合は録画予約が実行されません。

◆　重　要　◆

- 「モード１」に設定されていて本機が待機状態のときに電源プラグを抜くと、故障の原因となることがあります。

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、次の手順で操作してください。

1 **USBハードディスクを取りはずす**

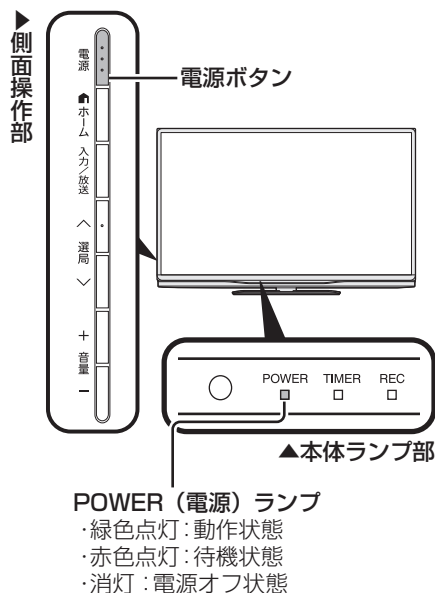
（電子取説「目次から探す」－「USB ハードディスク」－「準備」－「USB ハードディスクを取りはずすときは」）

2 **電源ボタン設定を「モード2」にする**

- 設定メニューの「（視聴準備）」－「各種設定」－「電源ボタン設定」－「モード２」を選びます。

3 **電源を切る**

- 本体の電源ボタンを押し、POWER（電源）ランプが消灯していることを確認します。

POWER（電源）ランプ
・緑色点灯：動作状態
・赤色点灯：待機状態
・消灯　：電源オフ状態

4 **電源プラグを抜く**

◇おしらせ◇

- 次に電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

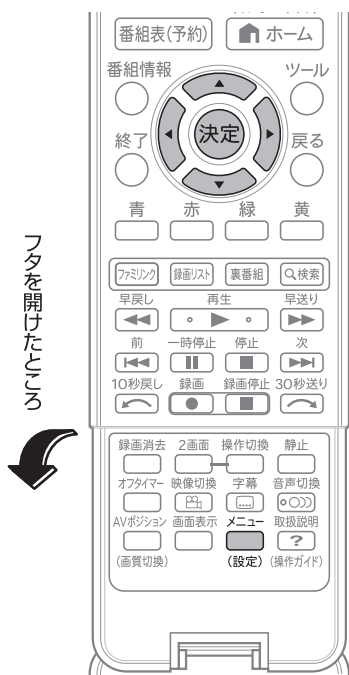
- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

◆ 重 要 ◆

- お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど）がすべて初期化されます。
- **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
  データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化·消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇おしらせ◇

初期化すると

- 本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

1 設定メニューを表示して、「（視聴準備）」－「個人情報初期化」を選ぶ

メニュー
（設定）を押し
で選び
を押す

2 「全ての情報を消去」または「USB-HDDの情報を残して消去」を選ぶ

で選び
を押す

- USB-HDD に録画したコンテンツの情報を初期化したくないときは、「USB-HDD の情報を残して消去」を選んでください。
- 「全ての情報を消去」を選ぶと、USB ハードディスクに録画した番組も消去されます。

3 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、「電源ボタン設定」を「モード 2」にして本体の電源ボタンを押してください。

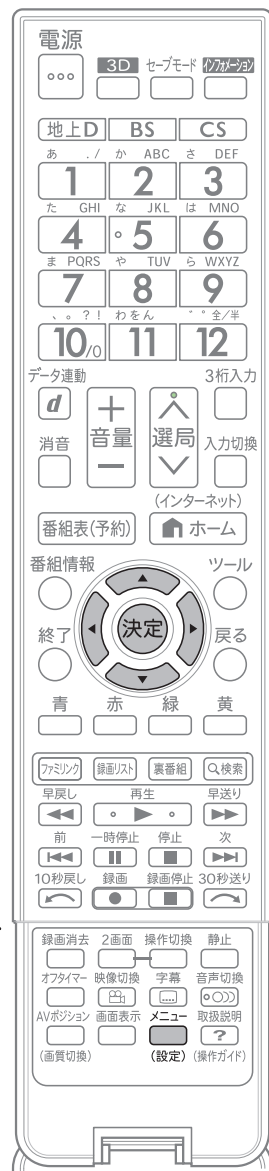
本機のソフトウェアを更新する

- ソフトウェアの更新とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのものです。
- 本機のソフトウェア更新には放送の電波を使って更新する方法、USB メモリーを使用して更新する方法、インターネット経由で更新する方法があります。
- 放送の電波を使って更新する際は、自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて「する」（自動）に設定されています。

放送の電波を使って更新できる環境について

- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

放送の電波を使って更新する際のご注意

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態（POWER（電源）ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、待機状態にしてください。「電源ボタン設定」を「モード 2」に設定しているときに、本体の電源ボタンで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合は、ダウンロードは実行されません。

自動ダウンロードを「しない」に設定する

・自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 設定メニューを表示して、「(視聴準備)」–「各種設定」を選ぶ

メニュー
（設定）を押し
で選び
を押す

2 「ダウンロード設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

3 「しない」を選ぶ

・操作を終了する場合には、ホームボタンを押します。

で選び
決定
を押す

手動でダウンロードを行う

・自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

1 設定メニューを表示して、「(お知らせ)」–「放送局メッセージ」を選ぶ

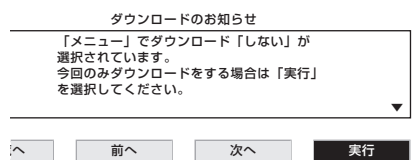
メニュー
（設定）を押し
で選び
決定
を押す

2 ダウンロードに関する放送局メッセージを選ぶ

で選び
を押す

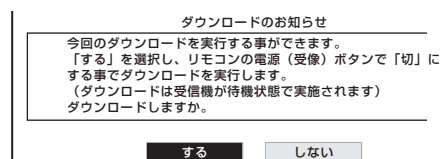
	受信日時	
未読	2/26［月］	ダウンロードのお知らせ
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

3 ①画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

で選び
を押す

②画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

ダウンロードのお知らせ

今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。

する　しない

・ダウンロードが成功すると、設定メニューの「(お知らせ)」–「放送局メッセージ」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。

USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

- USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
- ソフトウェアの更新をするときは、パソコンを使用して、あらかじめ更新用ソフトウェアをUSB メモリーに書き込んでおく必要があります。更新用ソフトウェアをパソコンから書き込むときは、USB メモリーが空の状態で書き込んでください。

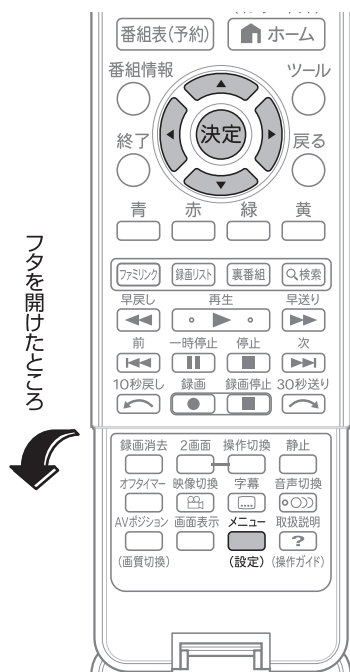
ソフトウェアの更新情報について

- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートページでご確認ください。

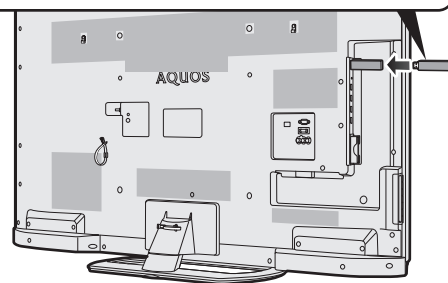
AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/

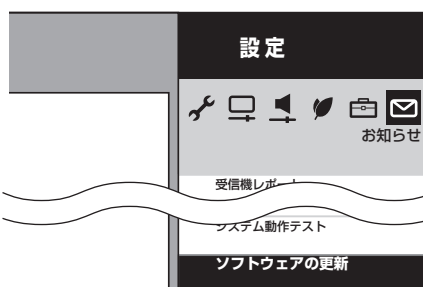
- 更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USB メモリーにコピーしてください。

◆ 重 要 ◆

- ソフトウェアの更新中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- ソフトウェアの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

1 本機のUSB端子に、更新用ソフトウェアを書き込んだUSBメモリーを取り付ける

- USB メモリーは本体側面の USB 端子に取り付けてください。

ＵＳＢ機器の接続部は右記のものを使用してください。

2 設定メニューを表示して、「✉(お知らせ)」–「ソフトウェアの更新」を選ぶ

メニュー
(設定)を押し
で選び
決定を押す

- 電子取扱説明書を表示しているときは、ソフトウェアの更新はできません。電子取扱説明書を閉じてください。

3 「USBアップデート」を選ぶ

で選び
を押す

4 暗証番号を設定しているときは暗証番号を入力する

- 電子取説「目次から探す」－「便利な機能」－「視聴できる番組や操作を制限する」－「暗証番号を設定する」

5 画面に従って操作する

6 「はい」で決定する

- ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
- ソフトウェアの更新が終了すると画面が数秒間消え、ソフトウェアの更新完了メッセージが表示されます。

ソフトウェアの更新が正しくできないときは

- USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データが USB メモリーの中に見つからないときは、エラーメッセージが表示されます。
- 更新用ソフトウェアのデータが書き込まれている USB メモリーを取り付けてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

7 アップデートが完了するまで待つ

8 USBメモリーを本機から取り外す

インターネット経由でソフトウェアを更新する

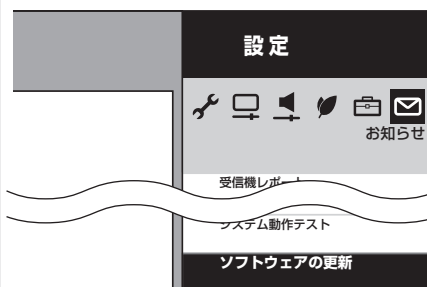
◆ 重 要 ◆

- ソフトウェアの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

1 設定メニューを表示して、「✉(お知らせ)」－「ソフトウェアの更新」を選ぶ

(設定)を押し

で選び

を押す

- 電子取扱説明書を表示しているときは、ソフトウェアの更新はできません。電子取扱説明書を閉じてください。

2 「ネットワークアップデート」を選ぶ

で選び

を押す

3 暗証番号を設定しているときは暗証番号を入力する

- 電子取説「目次から探す」－「便利な機能」－「視聴できる番組や操作を制限する」－「暗証番号を設定する」

4 画面に従って操作する

5 「はい」で決定する

- ソフトウェアの更新が終了すると画面が数秒間消え、ソフトウェアの更新完了メッセージが表示されます。

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- glibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- NTP
- Expat
- DHCPv6
- dlmalloc
- coreutils
- jpeg
- libpng
- SQLite
- LVM2
- device-mapper
- xfsprogs
- parted
- util-linux
- Simple IPv4 Link-Local address
- libxml2
- webkit
- cairo
- fontconfig
- icu
- libxslt
- cURL
- tinyxml
- freetype
- fetch
- ALSA
- V4L2
- Qt
- libusb
- fuse
- SaWMan
- FusionDale
- u-boot
- e2fsprogs

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL

LICENSE ISSUES
The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

XMLRPC-EPI

Copyright: (C) 2000 Epinions, Inc.
Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2) THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF

次のページに続く

ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3) IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

NTP

Copyright (c) David L. Mills 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libfreetype

Copyright (c) 2006, 2007, 2008, 2009, 2010 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg.

libxml2

Copyright (c) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

fontconfig

Copyright (c) 2001, 2003 Keith Packard

icu

Copyright (c) 1995-2011 International Business Machines Corporation and others All rights reserved.

libxslt

Copyright (c) 2001-2002 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

cURL

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE
Copyright (c) 1996-2009, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.
All rights reserved.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

fetch

Copyright (c) 1998-2004 Dag-Erling CoýÅan Smgrav
Copyright (c) 2008, 2010 Joerg Sonnenberger <joerg@NetBSD.org>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of onditions and the following disclaimer in this position and unchanged.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3.The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Free Type 2 font engine

Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. The software is based in part of the work of the FreeType Team.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 は Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスされた MPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

この製品には株式会社デジオンが開発したＤＬＮＡ対応ソフトウェア DiXiM® が使用されております。

Ubiquitous SAFE DTCP-IP
Copyright© 2001-2011 Ubiquitous Corp
この製品には株式会社ユビキタスが開発したDTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

Copyright 1998,2009 by the Massachusetts Institute of Technology.
Copyright (C) 2007-2009 by Daniel Stenberg

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.
M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブル D（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- モスアイ ® は、大日本印刷株式会社の登録商標です。

http://www.espial.com

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ				
形名		LC-80XL9	LC-70XL9	LC-60XL9	LC-52XL9	LC-46XL9
液晶パネル	表示サイズ	80V型 (横177.1cm×縦99.6cm／対角203.2cm)	70V型 (横153.9cm×縦86.6cm／対角176.6cm)	60V型 (横132.9cm×縦74.8cm／対角152.5cm)	52V型 (横115.2cm×縦64.8cm／対角132.2cm)	46V型 (横101.8cm×縦57.3cm／対角116.8cm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式				
	画素数	1,920(水平)×1,080(垂直) 画素				
	使用光源	LED				
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型(地上デジタル入力共用)、BS-IF 75Ω不平衡型				
スピーカー		3×15cm トラック型2個 2.0cm 丸型2個 8.0cm 丸型1個				
音声実用最大出力(JEITA)		30W (7.5W+7.5W+15W)				
使用電源		AC100V·50/60Hz				
消費電力		349W (待機時電力:0.1W※1、クイック起動「する」時電力:37W)	260W (待機時電力:0.1W※1、クイック起動「する」時電力:37W)	210W (待機時電力:0.1W※1、クイック起動「する」時電力:37W)	162W (待機時電力:0.1W※1、クイック起動「する」時電力:37W)	144W (待機時電力:0.1W※1、クイック起動「する」時電力:37W)
年間消費電力量		• 区分名:DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1) • 受信機型サイズ:80V • 年間消費電力量:184kWh／年[標準時※2]	• 区分名:DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1) • 受信機型サイズ:70V • 年間消費電力量:155kWh／年[標準時※2]	• 区分名:DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1) • 受信機型サイズ:60V • 年間消費電力量:127kWh／年[標準時※2]	• 区分名:DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1) • 受信機型サイズ:52V • 年間消費電力量:103kWh／年[標準時※2]	• 区分名:DG1(FHD、液晶倍速、付加機能1) • 受信機型サイズ:46V • 年間消費電力量:87kWh／年[標準時※2]
接続端子		HDMI入力4系統4端子、D5映像入力1系統1端子、ビデオ入力1系統1端子(入力5は音声出力兼用)、音声出力1系統1端子(入力5兼用)、アナログRGB(PC入力)端子、音声入力端子(入力6／入力4用)、デジタル音声出力(光)1系統1端子、アンテナ入力地上デジタル端子、アンテナ入力BS·110度CS端子、ヘッドホン接続端子、USB端子3系統3端子、LAN1系統1端子(10BASE-T/100BASE-TX)				
受信チャンネル		BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、地上デジタル(ワンセグを除く)011～528ch (CATVパススルー対応)				
BS·110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK				
	トランスポート	MPEG2 システム				
	映像	MPEG2 (MP@HL)				
	音声	MPEG2 AAC				
	限定受信システム	ARIB CASシステム				
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz				
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz				

品名		液晶カラーテレビ				
形名		LC-80XL9	LC-70XL9	LC-60XL9	LC-52XL9	LC-46XL9
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)				
	トランスポート	MPEG2 システム				
	映像	MPEG2 (MP@HL)				
	音声	MPEG2 AAC				
	限定受信システム	ARIB CASシステム				
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz				
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯				
タイマー	予約番組数(最大)	32番組				
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅182.5×奥行9.2×高さ108.5(cm)	幅157.8×奥行9.2×高さ95.0(cm)	幅137.8×奥行9.2×高さ82.9(cm)	幅119.6×奥行9.1×高さ73.5(cm)	幅106.1×奥行9.1×高さ65.7(cm)
	スタンド装着時	幅182.5×奥行45.5(転倒防止金具使用時は46.4)×高さ112.3(cm)	幅157.8×奥行38.9(転倒防止金具使用時は42.6)×高さ99.3(cm)	幅137.8×奥行38.9(転倒防止金具使用時は42.6)×高さ87.1(cm)	幅119.6×奥行30.2(転倒防止金具使用時は32.6)×高さ76.9(cm)	幅106.1×奥行30.2(転倒防止金具使用時は32.6)×高さ69.2(cm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約63.0kg	約43.5kg	約34.0kg	約25.0kg	約20.0kg
	スタンド装着時	約69.0kg	約50.5kg	約41.0kg	約27.5kg	約22.5kg
使用温度		0℃～40℃				

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
■「標準」:一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。
※1 USB入力未接続時。
※2 設定が、AVポジション「標準」で、明るさセンサー「切」の場合です。

内蔵無線 LAN の仕様について

データ転送速度(理論値)	IEEE802.11n	300 ～ 6Mbps
	IEEE802.11a/g	54/48/36/24/18/12/9/ 6Mbps
	IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
チャンネル(中心周波数) ※	5GHz	W52 36、40、44、48ch W53 52、56、60、64ch W56 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
	2.4GHz	1ch ～ 13ch
セキュリティ		WPA2-PSK(TKIP/AES)【推奨】、WPA-PSK(TKIP/AES)、WEP(128/64bit)

※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。

※ 電波法により、W 52 ／W 53 は屋外での使用は禁止されています。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書（別添）

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。（⇒ **83** ページ）

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、８年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■「故障かな？と思ったら」（⇒**57～64**ページおよび『電子取扱説明書』）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名　:液晶カラーテレビ
- 形　　　名　:LC-80XL9／LC-70XL9／LC-60XL9／LC-52XL9／LC-46XL9
- お買いあげ日（年月日）
- 故 障 の 状 況（できるだけくわしく）
- ご　住　所
（付近の目印もあわせてお知らせください）
- お　名　前
- 電 話 番 号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日･販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

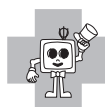
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源を入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源を切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。
発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/ ■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。

使用方法や修理のご相談など【お客様相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

携帯・PHS OK **0120 - 001 - 251**
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

受付時間（年末年始を除く）
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00

■フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電　話	FAX
043 - 331 - 1626	043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口（サービスセンター／テクニカルセンター）でも承っております。

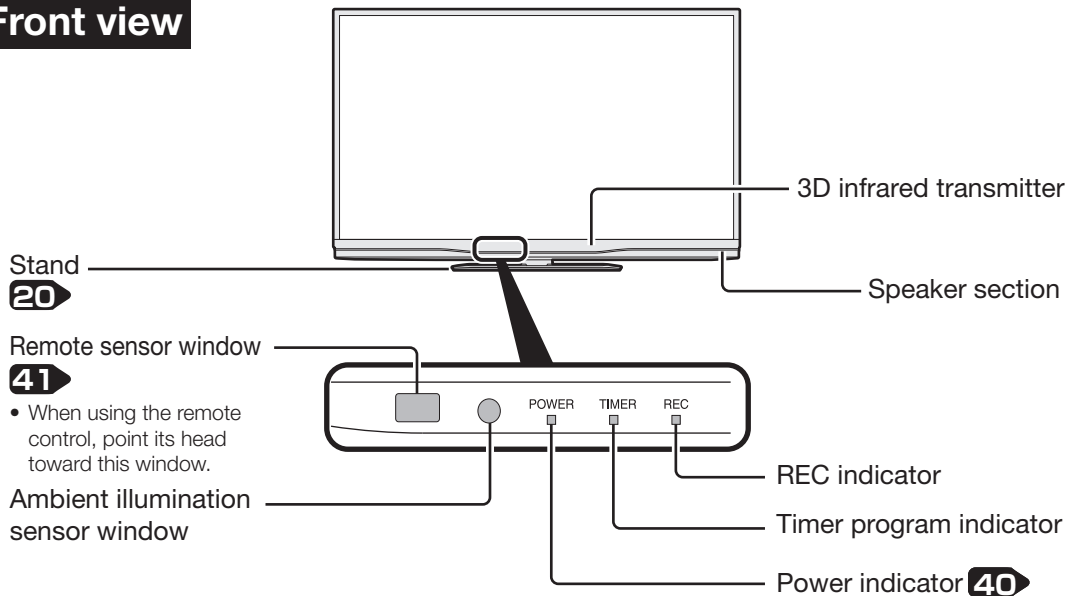
受付時間（祝日など弊社休日を除く）●月曜～土曜：9:00～17:40 ただし、沖縄地区は月曜～金曜：9:00～17:40

地区	窓口	電話番号	住所
北海道	札幌	011-641-4685	〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北	仙台	022-288-9142	〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27
関東	宇都宮	028-637-1179	〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
関東	東東京	03-5855-0432	〒114-0012　北区田端新町2-2-12
関東	横浜	045-753-4647	〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23
中部	静岡	054-344-5781	〒424-0067　静岡市清水区鳥坂1170-1
中部	名古屋	052-332-2623	〒454-0011　名古屋市中川区山王3-5-5
中部	金沢	076-249-2434	〒921-8801　野々市市御経塚4-103
近畿	京都	075-672-2378	〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
近畿	神戸	078-452-7009	〒658-0025　神戸市東灘区魚崎南町4-12-6
近畿	大阪	06-6794-5611	〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
中国	広島	082-874-8149	〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4
四国	高松	087-823-4901	〒760-0065　高松市朝日町6-2-8
九州	福岡	092-572-4652	〒812-0881　福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄	那覇	098-861-0866	〒900-0002　那覇市曙2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2012.10)

English Guide
Part Names

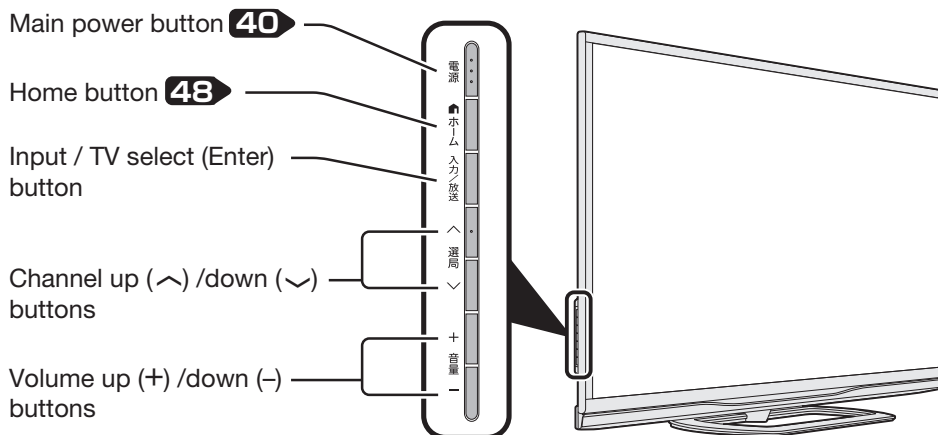
- The number shown in each ▶ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Adjusting the LCD panel angle (LC-60XL9/LC-52XL9/LC-46XL9)

- The LCD panel can be rotated horizontally up to 20° clockwise and counter-clockwise.
- Hold the stand firmly when you adjust the monitor's angle.

Control panel

left side view

次のページに続く

The illustrations below are those of LC-52XL9.
LC-80XL9/LC-70XL9/LC-60XL9/LC-46XL9 has the same layout of jacks and terminals as LC-52XL9.

USB 1 terminal
74

Headphones jack

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1・2・3 and 4 (HDMI)
28〜29・32〜33・34

B-CAS card slot
23

• IC chip side of B-CAS card is turned to a front side of this product, and B-CAS card is inserted.

AV in 6 (PC)
35

USB 2 terminal

Connect a video game equipment, video camera, etc.

AV in 5 (D5) /Audio out
28

USB 3 terminal
37

• The USB 3 terminal is compatible with portable hard disk drives that operate using USB terminal-provided power.

PC input (audio)
34・35

UHF antenna input terminal 24〜27

BS·CS 110 antenna input terminal 24〜27

Digital audio output jack (optical) 29・31・33

LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX)
36・37

Remote Control Unit

Active/Standby 40
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

地上D **Terrestrial digital select** 47
BS **BS select** 47
CS **CS select** 47
When selecting the CS digital channel for the first time. 46

データ連動
Linked data broadcast 47
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

消音 **Mute** 47
Press to mute audio.

Volume up (+)/down (-) 47
Press to adjust the volume.

番組表(予約) **EPG** 47
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

(インターネット)
ホーム **Display the "Home" Screen** 48・49
Press to start some useful operations of the TV.

番組情報
Program info
Press to display detailed information on the current digital program.

Finish
Press to finish menu operation, etc.

Familink
Press to operate "Familink" Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

録画消去
Delete recording
Press to delete a title recorded on the USB-HDD.

2画面
Split screen
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

操作切換
Operable screen
Press to switch the operable screen when the TV set is in the split screen mode.

静止
Freeze
Press to freeze the picture.

オフタイマー
Sleep timer
Press to select the remaining time period after which the TV set automatically enters the standby mode.

AVポジション
AV mode select
Press to select the picture/sound setting that best matches the current program.

映像切換
Picture select
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

画面表示
Display
Press to display or turn off the channel call, etc.

3D
3D
Press to switch to 3D mode when the TV set receives a 3D signal.

セーブモード
Power saving mode
Select power saving settings.

インフォメーション
Information
Press to display AQUOS information.

Channel select 47
- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

3桁入力
Digital channel number input
Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

選局
Channel up (∧)/down (∨) 47
Press to select channels in the ascending or descending order.

入力切換
Input select 47
Press to select the input.

Display the Tool Menu

Cursor (up, down, left, right) 48・49
Use to select a menu item, column, etc.

決定 **Enter/Confirm** 48・49
Press to confirm a selected setting or menu item.

Return 49
Press to go back to the previous screen.

青 赤 緑 黄 **Color**
Use to operate EPGs and data program screens.

裏番組 **Other on-air programs**
Press to display the EPG for currently on-air programs only(裏番組).

検索 **Smart seach**
Press to display the Smart seach.

音声切換
Audio select
Press to select the audio.

取扱説明
Operation guide 50
(操作ガイド)
Press to display the operation guide.

字幕
Caption
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

メニュー
(設定)
Menu
Press to display or turn off the menu screen.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Switching the Display Language to English
設定メニューなどの言語を英語にする

- Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  設定メニューなどの画面表示を英語にすることができます。

◇おしらせ◇

誤って設定メニューを英語にしてしまったときは

- 設定メニューの「(View Setting)」－「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

1 Press

Display the menu screen.
設定メニューを表示する

2 Select with

Select "(視聴準備)" (View Setting).
「(視聴準備)」を選ぶ

3 Select with

and press 決定

Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

4 Select with

and press 決定

Select "English".
「English」を選ぶ

Enter.
決定する

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります

5 Press

Finish this operation.
終了する

シャープはエコポジティブ。

省エネ 明るさセンサー

- テレビを見るお部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整。無駄に消費する電力を低減します。

省エネ 「無信号電源オフ」機能

- テレビ放送終了後など、番組が映らない状態になると約 15 分後に電源がオフになるよう設定ができます。

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「よくあるご質問」(**57**ページ)「故障かな?」(**62**ページ) をご確認ください。

メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ　お問い合わせ

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法や修理のご相談など
【お客様相談センター】

0120-001-251
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

※詳しくは、取扱説明書83ページをご覧ください

■ 廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

シャープ株式会社
本　　　　　　　　　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
デジタル情報家電事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-F670WJZZ⚠
12P11-JA-KS